

幼児の教育

家庭・保育所・幼稚園

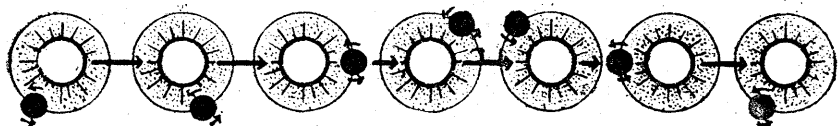
第五十三卷 第十号

日本国鉄道特別取扱認許誌第六八三号



日本幼稚園協会





幼児の教育 目次 第五十三卷第十号

表紙……………猪熊弦一郎

狼の子ども……………山下俊郎 2

特集一

遠足について……………(先生) 土屋真砂子 4

こころ思う……………(母親) 大友美也子 7

……………三木安正 10

協力遊びの発展と誘導

——動物玩具を媒介として——

……………津守真 13

蟲を喰う植物の話

……………堀合文子 13

保育用具の展示会を

……………松村義敏 26

☆教育職員免許法改正における

幼稚園関係の改正主要点の解説☆

……………波多野完治 31

育て教える

……………玉越三期 32

保育者の生活時間に関する実態調査

……………黒木一男 39

(日本保育学会第七回大会研究報告表)

……………西本脩 42

編集委員
協力

倉橋 三友雄
牛島 義鉄
多田 鉄

及川 ふみ
波多野 完治

斎藤 文雄
山下 俊郎
(五十音順)

発行 日本幼稚園協会



狼の子ども

山下俊郎

子どもの心の成長には、いろいろの条件が関係している。このいろいろの条件の持つている大切な意味をはっきりとつかむということは、子どもを育てるものにとって何よりも大切なことである。そして、ある一つの条件が生物の成長に対してどういう意味を持っているかということをはっきりとつきとめるためには、実験をやってみるのが一番たしかな方法である。動物や植物の場合には、こういった実験が実際に行われている。たとえば、ねずみにビタミンB₁をやらなくてもおけばどういうことになるかという実験が行われると、ビタミンB₁の持つ意義がはっきりわかる。植物の成長に日光が大切な役目をしていることは、日光をあてないでおけば、やしができてしまうことでわかるし、日光が葉緑素を作るはたらきを持っていることがわかる。

ところが人間の場合、ふつうの条件のもとではこういった実験が中々できない。人間の子どもである以上、その子の最善の成長を阻害するような条件を、わざわざ人為的に作って、子どもをいためることはとうていできないからである。そこで、人間の場合には、何か異常な条件が自然に起った場合について、その条件の持つている意味をたしかめるというのがわたくし達のふつう探っている方法である。いわばたくまない一つの実験といっている。自然の実験としては、たとえばきょうだいのいない一人子についていろいろ研究して見ると、そこに一人子に特有の傾向があつて、それがきょうだいがいないために起ってきたと見ることができれば、いわば裏側からきょうだいの意義というものが見えるということが考えられる。

子どもはいうまでもなく人間的文化的環境の中に生まれ、そしてその中で育つ。ところがふつうの子どもの場合には、その人間的文化的環境というものの持つ意義が、それほどはっきり浮びあがって来ない。しかし、人間的文化的環境は、子どもの成長に対して本質的に重要な意味を持っているのである。このことは、たまたま人間的文化的環境でない所で育った子どもというものが、もしこの世の中にあるとすれば、その子どもを見ればはっきりとつかめるであろう。

このような問題に答えてくれるのが、「狼に育てられた子ども」である。時代はだいぶ古いが、一九二〇年インドで、狼の穴から推定年令八才と一才半と思われる二人の女の子が発見され、シング神父という牧師の手で育てられた。大きい方がカマラと名づけられ、小さい方がアマラと名づけられ、この牧師の経営する養護施設で育てられた。アマラはこの施設に引きとられて一年で死んだが、カマラは七年あまり生活してから死んだ。そしてこの養育の記録が、アメリカの心理学者ツィング教授およびゲゼル教授の註釈をつけられてそれぞれ出版されている。恐らく生後間もない頃に、土民の迷信によってすてられた子どもが狼によって育てられたのであろうが、この「狼の子ども」の成長に関する問題は、ひじょうに大切な問題を含んでいる。(ゲゼル博士の書物は近く宮城音弥氏の訳で出版される由である)

この狼の子達の成育記録の中には、あまりにも大きな問題が

たくさん含まれているので、この小文ではとても全部を論ずることはできないが、まずいい得ることは、立派に人間としての素質を持った子どもが、狼に育てられると全く狼的生活をするようになるということである。この子達は、人間としての直立の姿勢で歩くことができない、また物を食べるのに、犬や猫つまり獣類と同じに口を皿につけて食べる、暗い所が好きで日中はうすくまっている、狼のような叫び声を発する、というような調子である。そして、二人とも次第に人間的環境の中で生活するにしたがって、きわめて徐々にではあるが、人間的生活中に近づいて行った。このことは、人間としての素質は、人間的文化的環境の中でのみ発展し、成長するものであることを教えるものである。

そして、この二人の言語の覚え方を見ると次のことがわかる。アマラは牧師の所へきてから二カ月で、水という意味の“Water”という言葉を知っている。カマラの方は、来てから四年たつてようやく同じ言葉をいつている。つまり、生まれてから狼の中で生活した時期が短いほどそれだけ早く人間社会へ復帰できるわけである。そして、小さいうちに人間の社会に帰った方が早く人間として成長するのである。このことは幼児教育の重要性を証明する一つの「自然的実験」である。

遠足について

こう思う

特集



(先生)

土屋眞砂子

遠足や散歩に出かけて、自然界の美しさや、豊さ偉大さを観察させたり、駅や郵便局商店街等人事界を見学させると同時に、社会生活を広く体験させるということは、幼児教育に於て園内の充実した保育と相並らんで重要視されていることであります。

外に出かけるということは、幼児の身体状況や天候等色々の条件に制約されますしまた自然や社会事象の移り変りが非常に速いため、周到な計画と心まめな実行力がないとその効果を挙げるものが出来ません。小遠足と申しましようか、簡単な外出係

育はどちらの園でも毎週のように行われていることと思いますが、春秋の大きな遠足は運動会について幼児に歓迎される最も大きな年中行事であります。

従って遠足を理想的に行うということは保育上極めて大切なことだと考えます。疲労と食べ過ぎとしか残らない一片のお祭さわぎに終ってはならない、幼児の生活の流れの中に遠足でなければ得られない数々の経験をさせたいものと念願しております。ここに拙い経験ではございますが、遠足についての一案をまとめてみることにいた

しました。

一、遠足前の指導

遠足地の予告 各園の地域性により、或は入園当初の幼児の多い春、集団生活に馴れきった秋により、或は四季の変化により、自ら春秋の遠足の教育目標は異なると考えますが、先ず、目標を定め健康な目的地を選んだら、保育者自身が実地踏査を行い、周倒な実行案を作製した上で、大体一週間前位に目的地の予告をいたします。

期日の計算遊び カレンダーを利用したり、或は遠足のためのカレンダーを幼児と共に製作したりして、遠足へ遠足へと湧き立つような幼児の喜びの心に乗って、毎日日数や曜日を数えたり、また自然に数字を学ぶよい機会といたします。

目的地の探究的な遊び 名勝、旧蹟としての由来、或は名産物等と、幼児の既知の事共を発表しあう機会をつくと共に、保育者の適当なヒント指導によって、幼児にふさわしい理解と関心を高めます。

乗物等行程に関する遊び 目的地までの

順路、乗物の種別駅名途中の主な名勝等共同作業によって、略図遊びを展開いたします。

持物や費用について 必要な持物についての相談をもつと共に、必要以外のものを持って行かない約束をいたします。幼児と共に大きなリックサックを描いて、その中に必要な携帶品を絵画いたり貼絵したりするのも興味ある仕事になります。

遠足についての案内書発行 園から発行する保育だよりの中に、遠足の案内欄を設けて、大体一週位前から家庭の協力を求めるようにいたします。

その内容は期日、目的地、時程、経費、服装や持物、団体行動についての約束、目的地の概要等であります。

お母様の参加について 母親同志の親睦母親の慰安、幼稚園教育の一端を知る機会集団の中の吾が子を観る機会、危険防止等色々の意味に於て親子遠足を出来るだけ実行しています。

事務的な処理を正確迅速に 目的地や乗物の交渉、不参加幼児の調査、参加母子の

名簿作り、経費の収支、急救用具の取揃え等保育者自身の準備万端に留意いたします。

二、当日の指導

○朝の視察を特に慎重に行い、病氣上りや病氣の兆のある幼児に過激な疲労を与えることのないよう注意し、尙人員点呼を厳格に行います。

電車等の乗降や車内での作法 高い崖、川の淵、車馬の交通の激しい四つ辻、踏切り等の危険に対する幼児同志の注意、店頭や駅頭、工場等では仍らく人々に迷惑をかけるに、また遊んだ後やおべんとうの後の清潔整頓等、特に社会性の指導に努めます。

自然界、人事界の觀察 は出来るだけゆつくりとその中に遊ばせることによって、新しい経験知識を築くようにいたします。

嬉しい興奮 眠れない程の嬉しい興奮から常よりも早起き、軽食、そして珍らしい風物に雀躍りしている児達故、特に事故の起らないようお母様方に全園児の母として

の協力を願い、またお母様達にも幼児達と同様団体行動の作法を守っていただくようにいたします。

適度の休憩 外出には何といつても疲労がつきものですから、適度の休憩、給食に留意いたします。

迷子 潮干狩には潮の干満、溺水、迷子具取りの仕度や後始末等特に行届いたお世話が必要といたします。

三、遠足後の指導

○疲労度の視察に特に注意し病氣を誘発することのない様努めます。

○予定と実際の時程の反省や、約束ごとの行否についての反省こゝ等して、よい社会性の成長を図ります。

○見聞した内容を、絵画、製作、歌、リズム遊び等により表現する機会をつくり新しい経験知識の充実を図ります。

日記に拾う

京電略図製作（二九、五、七）

雨に閉された一日、年長組の男児数人の

グループ遊びから展開し、遂に組全体の参加となる。幅三尺長さ五間の模造紙に長々と引かれた省線、国道、京電の平行線、東京と千葉を分つ江戸川ラインを中心にしての略図作り、四十を数える駅名のこととて上りと下りの区別や駅名で混雑を極め幼児同志で判断がつきかね行き詰つてしまふ。省線は遠いので宿題とし京電は管野駅に行つて調査を行った。全児分担で駅名を入れた切りぬきの思い思いの駅が貼られ省電、京電、自動車等上り下り入り乱れて走る壮観な図が出来た。翌朝数人の児が朝お父様を送つて省線駅をしらべたとか、夕方兄姉と共に調らべに行つたとか、宿題を忘れずに正確な答をポケットに、昨日の続きをしようという意図に燃えて登園した姿は実に頼母しかった。小さい児達が驚きの眼を輝かせて指差す駅名を、年長児が声高らかに読んで上げるという可愛い風景も幾日となく繰り返された遠足を待つ喜びだった。

〇てるてる坊主祭り(二九、五、一七)

全園児折りをこめてのてるてる坊主製作

も効なく、一度雨で中止となった成田遠足だけに、延期によつて絶好の静かな晴天に恵まれたことは非常な喜び、てるてる坊主に對する感謝が一人、庭の南天ならぬヒマラヤ松につるされたてるてる坊主に背伸びしてはえみ唄う児達に機を得て、てるてる坊主ありがとうの会をする。

砂を固めてちり紙に包装された米屋の栗ようかん、画紙をまるめて鳩を止まらせた鳩笛など、小さい手に作られた数々のおみやげをお供えして、歌やお話の発表会をして遊んだ。

〇井頭公園共同製作(二八、一〇、二五)

自然的な環境と整つた文化施設の中に遊び思いがけなく大きな収獲、幼児の話題は水族館やロバの馬車、お伽列車等に集約されていた。感銘の新たな中にとつて全園児分業にて井頭公園の共同製作にかかる。

松組(海ねずみのプール、お猿の家、うさぎの家) 竹組(孔雀の家、水族館) 梅組(小鳥の家、お伽列車、ロバの馬車) 桃組(小鳥の家、熊の家) 桜(花園) 古箱、ボール紙、木片、粘土、画用紙、ヒゴ、麦稈等を

材料として、一週間の連続作業、凡て立体であること、きれいな仕事、一斉仕事をやめて素朴な幼児の自由創作表現であることを重んじたので、出来上つた井頭公園には、幼児の一人一人が、躍動していた。

一大力作に眼を輝かせた幼児達は、自然に井頭公園行の乗物遊びをはじめ、入場券作り、入場券売り、園内の整理係案内係はてはおみやげ製作、おみやげ売り等と社会的な遊びへ展開発展し、飽くことを知らない有様、記念の撮影を最後に二週間を経て有終の幕を閉じた。

(日の出幼稚園)

× ×

× ×

遠足について

こう思う

特集



(母親)

大友美也子

子供達の楽しみの一つである遠足——。

幼稚園から遠足の通知を頂いて帰ると、もうその日から、カレンダーにしろしめをつける「あと五日。」「あと四日。」と指折り数えてその日の来るのを待っています。何時もきめられた日に、予定通りの遠足が出来て居りましたのに、今年は天気に恵まれず、予定の日が、二度も雨で延期となり、やっと三度目に行けたような次第で、母親の方はお弁当作りも三度、お菓子買いも三度させられてしまいました。子供も起きると、雨降り又雨降り、で、機嫌が悪く、濡れて、し

おれた、てるてる坊主を見ると、母親までも悲しい気持ちに、させられるのでした。

こんなに人気のある幼児の遠足を、私達母親はどのように、見、又感じているのでしょうか。自分の経験、知人友人等の母親としての意見等も入れて、考えて見度いと思えます。

私の長女の場合(昭和二十四年頃)

次子出産の為、長女は、近所の幼稚園に入れました。此処は幼児の生活訓練を主にした特殊の幼稚園でありましたので、入園後二ヶ月位に行われた遠足も、勿論附添無し

の先生と子供だけのもので、

多摩川原・井の頭公園等

に行きました。生れてはじめて親の許を離れての遠出で、家では銘々子供の迷い子札を作り、首に下げてやり、又各家庭より提供した絹の三角巾を、幼稚園で、赤、黄、紺等に染めて頂き、色分けの首巻きをして出掛けて行きましたが、今迄にそのような経験を持ったことの無い親は、帰るまでは何となく不安でなりませんでした。然し心配している程のこともなく、子供達は皆元気に帰って来ました。各級毎の遠足でしたから、一組三十人程に、先生が四、五人行つて下さるのですから手も行届き、又この時の様子を、何時も、細々プリントで報告して下さいましたので、家では思いもかけなかった子供の動きに、驚いたり、喜んで——。とにかく二度目から親は安心して子供を手離すことが出来るようになりました。小さい中から独立心を養う行き方が進むこの幼稚園は、ずっと今でも附添無しで遠足ばかりを続けているそうです。親が行かないから子供の楽しみは、半減するもの

ではなく、子供達にとっては、家の人とは別に行く遠足の方が、かえって興味深いものであつたかも知れません。又親無しの遠足は、外見もさっぱりしていて良いと思いました。

私の長男の場合（現在）

長男は、両親と同じ幼稚園に入れて頂きましたが、こちらは長女の時は正反對の行き方で、何時も附添を必要とする旨の刷物を頂きますので、雑用に追われ家に閉じこもり勝ちの母親は、子供の附添と言う名目のもとに正々堂々と半日の郊外行きに楽しませて頂ける特点もあると思います。

浜田山（三井グラウンド）

ニッサン厚生園（井の頭公園隣り）

に行きました。費用の方は、PTA会費の方から出して頂き、場所及びコースの選定も先生の方におまかせして居ります。いずれもあまり大衆的な所ではなく、静かで、子供の遊具等もあり評判も良いでしたが、秋、春と同じ場所が重って、ガツカリした親側の声も大分聞きました。親達も一緒に楽しませて頂く遠足ですから、出来ること

なら、違った所に行かせて頂き度いと思います。若い元氣な母親達は、時にはバスを利用して、もう少し遠出をし、目的地に着いてからの時間を、ゆっくりとり、親同志で遊び度いとも言つて居ります。翌日は子の為にも親の為にも是非休みにしてほしいと思います。子供は案外疲れないようですが、休園である方が矢張り自然のように思われます。

次に都内二、三の幼稚園の遠足と、母親側の意見を掲げて見ましょう。

牛込方面の一幼稚園

最近出来た新しい幼稚園で、子供達の家庭も大体揃つて居ります。此処では、

(一)子供の団体行動、訓練を目的とした遠足。

(二)母と子のリクリエーションの為の遠足。の二通りに分けて行つています。「いろいろな所に連れて行つてやり度い。」と言う親側の、希望が強いので、(二)の方に力を入れ貸し切りバスで、

ユネスコ村及村山貯水池方面

羽田空港及横浜方面

に行きましたが、子供達の興味も深く、親達も、あまり行つたことのない所でもあり殊に評判が良いでした。

杉並方面の一保育園

費用のかからぬ点を第一の主眼として、保育園側に場所の選定をして頂きます園児の母親は、皆仍いていますので、大体親子のリクリエーションをかねたものになっています。家庭、職場等、これ等の人々の生活に一番不足している緑を求め、

小金井緑地（武蔵野郷土館がある。国電

小金井駅北方、徒歩二十分位。）に、しましたが、此処は、一面の広い原っぱで、存分な憩いが出来、帰りに、おみやげに、美しいグリアの花等頂き、一層好評でした。

下谷方面の一保育園

此処は、宗教の団体で、外地からの引揚者孤児等も居るので、この人達に、少しでも寂しい思いをさせぬよう、不断の屋食も、皆、一様の給食制にしています。遠足の菓子、果物も一切、保育園の方で、PTAのお金で、用意して、持つて行つて下さり、目的地で、先生、親、子、皆同じおやつを

頂くのも、よいものです。

京成谷津遊園地・浜離宮・下総中山の開放している一邸宅

等は、こじんまりとした遠足で、皆それぞれに楽しめ、評判が良いでした。

上野動物園

は、他の団体が多過ぎ動物すら見ることも出来ず、失敗に終わりました。船に乗って海に出て見度いとの希望もあります。

近県の幼稚園も大抵親も一緒に遠足をしている所が多いようですが、農村の保育所等になると、条件も違い、親の意見も異って来ると思われますが、今回は其処まで比較研究するに、至りませんでした。

今迄、幾つかの例を挙げましたように、幼稚園や保育園では、種々様々の遠足を行っていることがわかります。母親側からの意見を通して、更に私は左のような事を望んでいます。

親子のリクリエーションの遠足が、近頃随分多くなって来て、どうかすると親の方が楽しむ遠足になりそうな心配があります。親子共々楽しむことは、有意義なこと

と思いますが、どんな場合でも、幼稚園の遠足はあくまでも幼児中心のものでありますように。幼児の心身の発達、興味の程度等、発達段階を誤らぬよう、あまり大規模のものでないことを望みます。

・都会の子供達には、この機会に、新鮮な空気を十分に吸わせ度い。又、自然の中で、より豊かな生活を持たせ度い。

・子供達の為に、便所が、不潔でないことも希望致します。

・幼稚園側の方針に従い、附添人が行ってもよい時には、家の誰か、都合をつけて、一緒に行き、大いに楽しく過し度いものです。

出来ることなら、母親が行き、ごく自然的な子供達の行動を、それとなく見、何時も特種な存在に見えて仕方のない我が子を、客観的に眺めることが出来たなら、親の行った遠足が、より価値づけられることでしょう。

(新宿区下落合一ノ四二九)

(38頁より続く) 文部大臣指定の幼稚園
教員養成機関は二年課程つまり二級普通免

許状を授与するための養成機関となった。これは仮免許状が廃止された結果からである。(法第五条第一項別表第一備考二) 2、従来の一年の養成機関は、昭和三十三年三月三十一日まで認められる

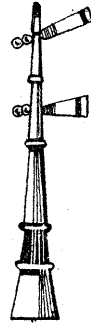
文部大臣指定の幼稚園教員養成機関は、仮免許状が廃止されたので当然廃止されるべきであるが、これらの養成機関が二年課程への移行準備のためと、仮免許状所有者等が二級普通免許状をとるために認められた猶予期間(昭和三十八年三月三十一日)とを考えて、昭和三十三年三月三十一日まで存続を認めることになった。したがって一年の養成機関は、昭和三十二年四月の入学者まで募集できるわけである。また、二年の養成機関は、法的には今年の十二月三日から設置できるが、実際には昭和三十年四月一日から設置し、入学者を募集できるようになる。なおこの二年課程の養成機関は、教員を養成するということだけからすれば、短期大学と同じであるから、従来の一年の養成機関とは大分変った施設設備や教員組織の充実が要求されるであろう。

(文部事務官)

遠足について

こう思う

特集



三木 安正

編集部から標題のようなことについて何か書くようにとってきた。一体、どうして私のところに、そんな注文が来たのか見当がつかないので、おことわりしようと思つていろいろうちに旅に出たので葉書を出し忘れてしまった。締切がせまってからおことわりをしては悪いので、場所ふさぎのようなものを書かざるを得なくなった次第である。

ところで、私は幼稚園の遠足にはまだ一回も附添つていたことがない。従つて幼児の遠足について語る資格は全くない。た

だ幼児教育についてはいくらか関係があり関心をもっている。そういうものに何か書かそうとするのは、無理なことであり、教育の實際に携さわつて日々努力しておられる先生方の實際から生れた研究のみが發言権を持つていふと思ふ次第である。ただ私は精神薄弱児たちの遠足に数回ついていった経験があるので、その経験から遠足について述べることにしよう。

それらの子どもは、精神的な發育からいへば、五、六才以下のものが大部分で、幼

稚園の子どもたちより、知恵の方は低いものが多いので、その経験を頭に浮べながら幼児の遠足の問題を考えてみようと思う。

普通、遠足などのことをレクリエーションといふ人があるが、子供の場合遠足はレクリエーションではなく、勉強の一種と考えらるべきであらう。

レクリエーションというのは仕事と遊びとが分化してゐて仕事の能率をさらに、高めるために、休養をとったり、気分を転換したりする再生産のための働きであるべきだから、仕事と遊びとが分化してゐない子供では、大人にとつてはレクリエーションである遠足も、そういう意味のものより勉強の一種と考えた方がよいというわけなのである。

それなら子供たちは遠足によつて、何を勉強するべきなのであろうか。

本当は、そういう目標がはっきり定められていなければ、どういふところに連れていって、どういふことをさせるかといった遠足の計画は立たないはずである。遠足とは電車にのつて遠いところへいって、お弁

当をたべてくることだというようなことになつてしまふ。そういえば、近頃、幼稚園の子供が、バスにのつて遠足に行く風景をまちで見かけることがある。わたくしどもの古い考えでは遠足というものは、遠い道を歩くこと、つまり脚を強くする機会であるという観念も残っているが、途中の乗物が混雑する当今のことであるからバスにのことはよい考えだが、その場合歩かせるということとはどの位考えられているだろうか附添のお母さん達にしてみればあんまり歩かないで珍らしいものをみて気ばらしをしてくるというレクリエーションの意味が果たされるであろうが、子どものための遠足としての意義はどうなるかなどということが気にかかることである。

そこで、子どものための遠足は何を勉強させ子供理解のためにどんなことが分る機会だろうかということを考えてみると、(1)経験を豊かにすること、(2)行動範囲を広くすること、(3)団体的行動の訓練のために平常より緊張した場面をつくること、(4)普段よりも長時間にわたる団体的行動におい

て、どういうグループ関係が見られるか、(5)体力について試運転をしてみて、どの位のがさせられるかということを確認したり子ども自身にとつては彼らにどの位のことが出るかということの自信を得させること、などが考えられる。

このようないろいろの面について、幼稚園の先生方は、すでに行つた遠足について考えてみたり、これから行ふ遠足について計画的に考察したら、新らしく、いろいろな知見が得られることと思うが、わたくしどもの精神薄弱児の場合では、(3)、(4)、(5)については遠足というものが、子供たちの勉強にとつて非常に大切な機会であり、彼等がよるこび、且つ緊張して行動しようとする機会に、団体的行動の訓練も出来るし山登りなども、やらせてみれば案外強いしそうした訓練はあはした子どもにとつては是非必要だと思ふようになって来たわけであるが、(1)、(2)については、どの位効果があるのかということなど仲々むずかしい問題である。

もちろん、子どもたちは珍らしいことを

見てよろこぶし、帰つてから、描いた絵にそれまで見られなかったようなものが、経験の効果として現われてくるようになるし与えた刺激は、むろん何らかの反応を示すのであるが、それが、何といつても狭い範囲にとどまつているので、生活経験としてどれだけ活かされるかというようなことを考えると、首をかしげたくなつてくるのである。

昨年の春には三崎へバスでいつて油壺の水族館をみたり遊覧船で城ヶ島の方を廻つたりした。今年の春は東京灣を七、八百噸の汽船にのつて三時間もかかつて勝山に行き、そこで小さな水族館をみたり、海女が真珠をとるところをみたりした。今年の遠足のときは、子供たちが、船に対してもの興味と魚に対しても興味と、どちらが強いだろうか、それらの興味はどちらがうだろうか、どちらを身近かなものとして受けるだろうかといったことを観察しようということの研究課題としてもち、そのために事前に、前年の記憶をよびおこすようにして、水族館の模型を作つたり、汽船ごっこ

をしたりしてにおいて、遠足当日の観察や、遠足がすんで後での遊びの変化などをみようとしたのであったが、思ったほどのことは出来なかった。それは、われわれの期待が少し大きすぎたのかもしれない。そのために、観察しようと思うことの網の目が大きすぎて、子どもの方についた小さな変化が、その網の目からもれてしまったのである。

ともかく、水族館での子どもの様子などは前年よりも、一生懸命みていたようだし船についても前年のような小さな遊覧船で席にすわっているだけのより、ずっと大きな汽船で、汽缶の運転状態とか、操舵室での船員たちの様子とかを見て歩くことが出来て、興味も深まったらしいことは事実である。

ただ、そうしたことを彼等の知能がどうまとめてくれるのか、そこからどんな芽生えが出てきてくれるのかということになると、まだ自身の考えも一向にまとまらない。

幼稚園の先生方が、上記のようなことに

幼稚園教育研究集会実施要領

▷主催

東京会場——文部省、お茶の水女子大学、東京都教育委員会、東京都、中央区教育委員会、文京区教育委員会

京都会場——文部省、京都学芸大学、京都府教育委員会、京都府、京都市教育委員会、京都市

▷開催期日

東京会場——十月十二日（火）より十月十五日（金）

京都会場——九月二十八日（火）より十月一日（金）

▷会場

東京会場・お茶の水女子大学（東京都文京区大塚町三五）但し第二日の実地保育及び班別研究は、お茶の水女子大学附属幼稚園、中央区立城東幼稚園、文京区立第一幼稚園、白金幼稚園、感応幼稚園で行う。

京都会場・京都学芸大学桃山分校（京都市伏見区桃山町）但し第二日の実地保育及び班別研究は、京都学芸大学附属幼稚園、京都市立乾隆幼稚園、京都市立生祥幼稚園、平安幼稚園、京都幼稚園で行う。

▷参加資格

(1)幼稚園関係職員、(2)指導主事、(3)教員養成学部教職員、(4)教育研究所々員、(5)小学校低学年担当者、(6)その他

関心をもたれて、具体的なデータを蓄積してくれば、実に興味深いことだし、保育

の研究も進歩すると思うのである。

（東京大学教授）

協力遊びの発展と誘導

— 動物玩具を媒介として —



眞 守 津
子 文 合 堀

序 玩具の数と遊び方との関係の検討

Ⅰ 子供の中から自然に発展した動物遊び

Ⅱ 更に高度の協力的遊びへの誘導及び結末

■ 評価

序 玩具の数と遊び方との関係の検討

玩具の数が十分でないということは幼稚園の問題としてよく耳にする所である。子供達に出来るだけ多くの玩具を与え豊かな環境を備えたいと私共は願う。しかし、玩具の数は豊かな環境を構成するのにどの程度に重要な要因であろうか。たまたま私共の幼稚園に新しい玩具、布製動物が来たので此の機会に、玩具の数と遊び方との関係を検討し、更に動物玩具を用いて協力的遊びに誘導する方法を研究することを試みた。

○玩具の数に関する実験計画。

最初入手した動物玩具は、キリン、象、ペンギン、猿、カンガルー（仔つき）の五種であった。そこで、これらの動物各一匹を一人の子供が持てる割合で子供の数と玩具の数とを按配した場合と、動物一匹について数人以上の子供が共有せねばならぬ場合とを人工的に場面設定して、その際にあらわれる遊び方を検討することとした。

1、玩具一つに対して子供一人の割合の場合、即ち、五つの玩具と五人の子供。

2、玩具二つに対して子供五人の割合の場合。

3、玩具五つに対して子供十五人の割合の場合。

この三つの場合のグループを作るために、異った構成人員より成る三つのグループを作った。即ち、A群五名(男二名女三名) B群五名(男二名、女三名) C群十五名(男七名、女八名) A群とB群とは、比較的似たような子供を対にして選んだ。A群は第一日に玩具五つ、第二日に玩具二つ、B群は、第一日に玩具二つ、第二日に玩具五つを与え、C群は、第一日第二日共に玩具五つを与える。被験者の年齢は五才児。記録者は、それぞれの場合について、子供一人について一人の記録者がつく。観察時間、各約二〇分ずつ。実験期日昭和二十九年二月八・九日午前中。もしも玩具が豊富に与えられた方が子供の遊びが高度に構造化されるとするなら、玩具五つに子供五人の場合に最もよく構造化された遊びが出現する筈である。

(整理の方法)

遊びの記録を各二分毎に、各個人毎に、遊びの構造上から次のように分類して整理した。

1、傍観。玩具を眺めてぼんやり立っている状態。玩具をは

しいけれどもさわれないで見ている状態。

2、平行遊び。一人で動物をいろいろにいじったり、可愛がったり、或いは独りで動物のベッドを作ってふとんをかけたりしている状態。他の子供と一緒にいるが、相互に構造的関連のない状態。

3、連合遊び。他の子供と一緒にまごとしたり、動物ごっこしたりするが、それほど構造化しておらず、分担もはっきりしない程度の遊び。

4、協力遊び。子供同志の分担、役割がかなりはっきりして構造化した遊び。

5、興奮状態。ただ動物をかつぎまわったりなぐり合ったりしている状態。

6、動物と無関係の遊び。動物と関係のない独り遊び或いは連合遊び。

上の如く整理した結果は第一表の通りである。

第一表より次の点が分る。即ち、

1、子供五人に対して動物が二匹の場合も、五匹の場合も、遊びの構造の上には大差は見られない。

2、上の何れの場合も、平行遊びが半数を占め、協力遊びはあらわれない。

3、子供十五人で動物五匹の場合は、上二者の場合と様子が

		傍 観	平 行	連 合	協 力	興 奮	無 関	計
5	匹	10 (11.5)	40 (46.0)	27 (31.0)	1 (1.1)	6 (6.6)	3 (3.4)	87
2	匹	14 (14.7)	52 (54.7)	23 (24.2)	0 (0)	6 (6.3)	0 (0)	95
15	人	58 (26.5)	61 (27.9)	46 (21.0)	23 (10.5)	16 (7.3)	15 (6.8)	219

第一表 玩具の数と子供の遊びとの関係

() 内はパーセント

少し異なる。即ち、(a) 傍観が多いこと。(b) 協力遊びが一〇％見られること。(c) 動物と無関係の遊びがあらわれること。

上のことから次の点が示唆される。

1、子供の遊びを発展させるものは、玩具の数よりも他の要因が大きく、他の要因を促進させることによって遊びを発展させることが出来るであろう。

2、子供の数が多くなる場合、協力遊びが出る可能性も大きくなり、

この協力遊びを指導する工夫をすることが先生の役割の一つとなる。

3、子供の数が多くなる場合、傍観者も多くなり、傍観者を

グループの中にひき入れること、及び、他の課題を与えて他種の活動を促進させることが先生の役割の一つとなる。

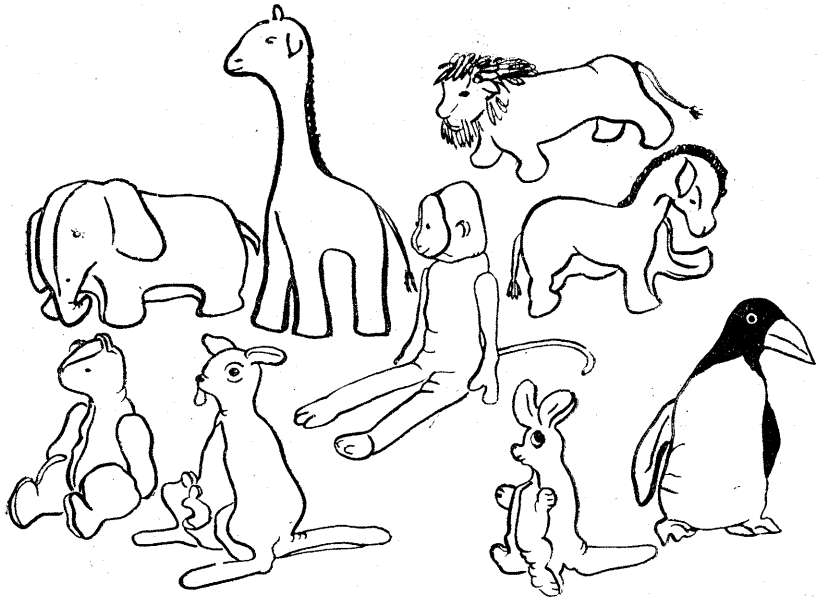
4、子供の数が多くなる場合、動物と関係の無い遊びが自動的に多くあらわれ、保育室の中で幾つもの遊びが同時に平行的に行なわれている状態が自然の保育の形であろうということ。

これらの点から、動物遊びがどういう要因によって協力遊びに促進させられるか、又、保育室の中でどのような指導が必要であるかを検討することが必要である。

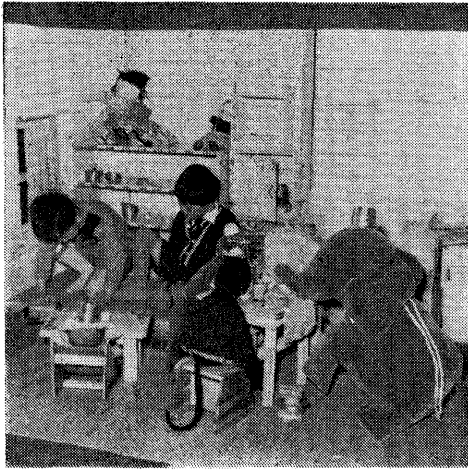
I 子供の中から自然に発展した動物遊び

前に述べたように、動物玩具の数と、幼児数との比率は、前述の実験条件下では子供の遊びに大きな変化を与えなかった。そこで八種の動物を保育室の中において、日常の保育室の条件で子供達がこれらの動物を用いてどのような遊びをするかを先ず見ようとした。これは協同的な遊びへと誘導する第一の段階である。

新学期に入ってから四月一杯、約二週間、子供達が自由に動物で遊ぶに任せて、その間に発展した遊びを観察した。その二週間で大体こういう条件であられる遊びの種類が出揃ったようである。



1 図



2 図

○動物遊びの種類。

1、動物を用いた機械的遊び。特に組織的な遊びではなく、動物にのったり、おいかけまわしたり、馬に乗ってパカパカやったり、象にまたがったりという類の遊びである。殊に初期の段階に多いが、後までも出てくるものである。個人的な遊びが多い。

2、動物を用いた「おうちごっこ」。普通のままごとに動物を加えてやるのであるが、動物がままごとの中心になる場合が多い。これは終始一貫して好まれる遊びである。

3、特に動物を中心にした遊び。例えば、動物の幼稚園ごっこ、動物おにごっこ、動物かくれんぼ、動物の競走、等は子供一人一人が動物をもって、動物になりきって行なわれるのである。又、動物の身体検査では、子供達のはかりをこしらえて動物の体重をはかったりする。又動物飛行機、動物自動車等は始められた。

動物遊びに顯著に見られた特徴について。

1、同一視行動。子供は想像の世界に浸りこんで想像の世界の中の人物となって行動する傾向が強いが、動物玩具のようにより具体的な手がありがあると、自分がその動物になりきって行動することが容易になる。動物遊びを通じて一貫してあらゆる場面で子供自身が動物となって活動する姿が見られた。例えば猿にクレヨンを持たせて自分で絵をかいたり、一人一人の子供がそれぞれの動物になってお話をしたりけんかしたりということは屢々みられた。

2、動物の擬人化。動物を恰かも生きている人のように扱おう行動も屢々見られた。例えば、カンガル―に本をよんできかせたり、象をかかえて走りまわったあと、自分の汗をふいて、そして象の汗も拭いてやったりというようなことである。

○子供はどの動物を最も好むか。

前の実験条件の資料から、子供が各動物をさわったり使ったりした頻数を集計してみると第二表の通りで、カンガル―が一番人気がある。殊にカンガル―の子をカンガル―に含めると、全体の三〇%の人气がカンガル―に集まる。その他のものは、この点からは特に顯著な傾向は出て来ない。

動物	キン	ペン	サ	ライ	カン	カン
	リン	ギン	ル	オン	ガル	ガル
数	(12.8)	(17.7)	(16.4)	(20.3)	(12.4)	(20.3)
使った	29	40	37	46	28	46

() 内はパーセント

第二表 各動物を使ったりさわったりした頻数

その後の保育室の發展をみると、キンが一番片隅に放置されているようである。これは専らキンが立姿勢で不安定な所から来ているのだろうかと思われる。尙後述する家庭調査の中に言及された動物について参照されたい。

これらの動物のどこが子供にとって魅力的なのか。

此処に用いたような動物、象、カンガル―、キン、ペンギン等の動物は、子供がふだん絵本で見たり、動物園で見たりして知っているだけであ

って、日常生活の周囲とは極めて縁遠いものと云わねばなら

ぬ。そういうふだん触ることも許されないような大きい動物が保育室の中に現われて、自由に抱いたりいじったりすることが出来るわけであるから、これらの動物は、子供達にとつて極めて魅力的であり、想像の生活に子供を導びき入れるだろうということは想像に難くない。又、常々可愛いと思つていても、実物の猛獣を本当に可愛がるのはむずかしいが、玩具の動物の場合には、十分に愛情を注ぎかけることの出来る気持も理解出来るよう。

更に又、これらの動物玩具の、玩具としての技工が子供の好奇心と興味に訴えている。例えば、カンガルーの口から一寸たれ下がっている小さな赤い布端、カンガルーの舌が一寸した工夫であり乍ら、子供に魅力的である。指先でさわってみたり、ペロペロと云い乍ら自分の顔をなめさせたりする。今、各々の動物のどの部分が特に子供に興味を持たれたか、記録からまとめてみると次のようになる。

カンガルー
腹（赤坊が出てくる）
舌（赤い布がぶら下っている）
しっぽ

背中

しっぽ（ぶらぶらしている）

ライオン

たてがみ（ぼさぼさしている）
ひげ

さ
る
しっぽ
手（人間の手のよう）

ペンギン
おなか（白くてふわふわしている）

口ばし（黄色くてとんがっている）

羽（バタバタと動く）

キリン
（首・耳・尾・口）

II 更に高度の協力的遊びへの誘導

子供自身の力による遊びの発展には限度がある。事実、動物を保育室に出して、二週間後には、次第に子供が動物に対して示す関心が減じて、動物が保育室の隅に放置されている事が多くなった。しかし、子供の遊びの中に、先生が一寸指導を加えると動物遊びがより高度の形となって発展し、子供達は動物に関する体験を動物遊びを通じて深め、又動物遊びを通じて協力的な活動へと展開する事が考えられる。この際の指導過程として、幾つかの要因が考えられる。

① 子供の遊びを展開させる中介物としての先生。

② 遊びを発展させる中介物としての補助的材料。

③ 遊びを高次に展開させる媒介としての補助的技術の習得と準備。

④ 遊びの体験を具体化させるための基礎的経験。

次に各項目につき実験した事項を照合しつつ考えてみよう。

子供の遊びの中に入って、子供の遊びの気持と、動機とを察し、そこから更に望ましい方向へ誘導する工夫をすること
は、先生の役割である。更に前にあげた②③④各項の要請を充
すことが先生の役割であり、それらがこの場合に行われた事
柄である。

動物遊びを發展し易い形にするのに、補助的材料を与えないければならない。前項の、子供の自由遊びの發展の場合にも日常の保育室における材料が補助材料をなしているのであり例え、かなり整ったままと遊び道具及び場所があつたから動物を交えてのおうちごっこが可能だつたのであり、大きな積木があつたから、飛行機遊びが可能だつたのである。それでは、動物遊び自体を發展させるのに、どういう補助材料をより以上に用意したらよいだろうか。

○動物の友達の製作。

これらの補助材料を与える際にも、それらが単に既製品であるのではなく、補助材料製作自身が子供の興味となり、保育の内容となるものである事が望ましい。

私達は玩具を与えて、ただその玩具に遊んでもらい傍観するのではない。子供達の遊びの發展を觀察して、その遊びの中から一つの主題をみつつけ、引出したりして、それをよりよく正しく楽しく遊べるよう發展するように此方の計畫を立てなければならぬ。又遊びの中から引出されなくとも、觀察の結果から計畫を与え進めてもよい。

今回は、後者のゆき方として動物園ごっこを取ってみたが、この計画がこの遊びに適切か、これは大人の考え方ではないか思案したが、一応これで案を進める。

この場合、この動物に対しては残材料のものでは対象にならないので、布はむずかしいので木工という事を考える。

いきなりこれに必要な材料にはとりからず、木工という事の興味を引出すため、木工材料、鋸、金鋸、釘と木片数々を用意し、それで自由に切ったり、打たせたり、作らせたりする。（子供達は舟、飛行機等を自由に作る）

先生が一匹木箱利用の動物を作ってみせる。その時子供達は手伝う。

子供達に柵をどうしたらよいか相談したり誘導するため、材料をそろえておいておく。始めはあまり手を出さなかったが誘導し、誘いかけると始め、男の子が多い。

柵が二三出来てから、子供達に木箱で作らせる。子供達に



3 図

は布製動物がお友達がないから作ってあげると
いって誘導する。

頭はベニヤ板にかき、大学実習生がこれは切
る。足、首は子供達が切って釘も打つ。

外廊が出来上ったら紙やすりで体全体を皆で
こする。

エナメルでそれぞれの色をつける。

ライオン・虎・兎・たぬき・きりん・ペンギ
ン・カンガルー・象・熊の顔を画く。

尻尾、耳、その他必要の箇所を紙で作る（完

成）

××× ××× ×××

③遊びを高次に展開させる媒介と
しての補助的技術の習得と準備。

動物遊びが小人数の局部的な遊び
であるだけでなく、保育室全体の多
角的な活動となるには、他の遊びを
も発展させておくことが必要であ
る。動物園ごっこに展開する基礎と



4 図



5 図

してのお店屋さんのような社会活動
は、この組では既に経験済みであり
又かなり高度の製作も経験している
ので、この場合に特に必要な事は、
動物を題材とする事柄の経験と、そ
の表現活動とであった。

動物に関する音楽リズム。
動物に関するおえかき。

××× ××× ×××

幼児の生活は此処から製作、この部分がリズム、この場面が自由遊びという事はない。という事も言わなくともよく理解されている事だと思ふ。

この場合、新しい動物玩具をただ動物園の形に誘導するのでは興味が薄い。すべての方向に幼児の生活経験をむけて指導する事が興味を誘導するにも必要だと思ふ。又幼児の生活経験を豊にすると共に幼児自身がその経験を他の方面にも表現するきずともなる。

今、音楽・リズム・描画に妨きかけてみると。

曲に併せて自由に部屋にある動物の表現をする。

動物園ごっここのリズム遊びをする。

動物の歌を歌う。象の歌が既製にある。これを歌うと、曲は同じで次々と部屋の動物の歌を作って歌う。

(例 きりんのおばさん今日は)

お首が長い長いね

お猿のお顔はあーかいね

きやつきやつきやつきやつ

きやつきやつきやつきやつ等々)

又家庭からも「僕歌を作った」といつてもって来る。

○動物のおえかきをする。

五月中旬頃は動物と遊ぶ事のための興味が表現までの欲はな

くあまり画く人も少い。画いても、やはり空想の中の動物で洋服きてリボンつけたりするのが多い。(その変化は後記)

××× ××× ××× ×××

④遊びの体験を具体化させるための基礎経験・実際に動物を飼育する経験及び実際の動物を観察する機会が動物遊びの基礎経験を与えるであろう。家庭に依頼して、殆んどの家庭が動物園を見学に行った。そしてその頃から動物に関する描画製作も又リズムにもすべて表現活動が活潑になってきた。

××× ××× ××× ×××

今までは局部的に誘導して来たが、それも大分進展して来子供に興味も湧いて来た。総括的な誘導として動物園へ見学も子供達と遠足にゆけばよいのだが社会状況がよくないので前述のように家庭にたのんで行ってもらった。その影響は、お話をしてみる。

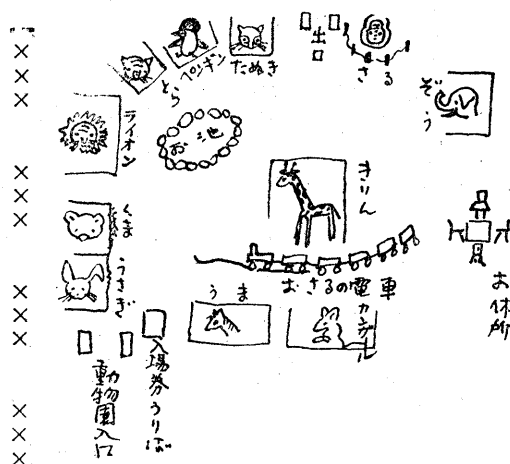
象の曲芸、ペンギンの芸、お猿の電車この三つが一番興味あったようで話題に多くのぼった、あとは時間を経て、動物の動作を思出したように話したり、幼稚園の動物と比較して見学して来た面もみえたようだ。

音楽リズム・描画にも変化が現れた。

これらの表現活動にも動物園の見学は影響され、子供達の細い観察が伺われた。

附記 動物園が殆んど完成した頃井の頭公園の動物園へ遠足の途中立寄った。

- ・自分の表現したい動物を一しようけんめい探している。
- ・動物の食物に関心があった。
- ・動物の歩き方にも関心があった。



6 図

- ⑤多角的な動物遊びの最後の段階。
- ・動物園を作る。
- ・お客様を呼ぶ。

・動物園で遊ぶ。

X X X X X X X X X X

基礎的経験も一応経験され、子供達も少し動物だけの遊びにはあきて来たようだし、又遊びもあまり変化も発展もなくなつたようなので動物園の開園へ急ぎむける。

- ・動物を動物園の形にならべる。
- ・動物園の看板をかく。
- ・入場券をつくる。
- ・動物の名札をつくる。
- ・開園の折の役割を相談する。
- ・お客様を呼ぶ。

・開園

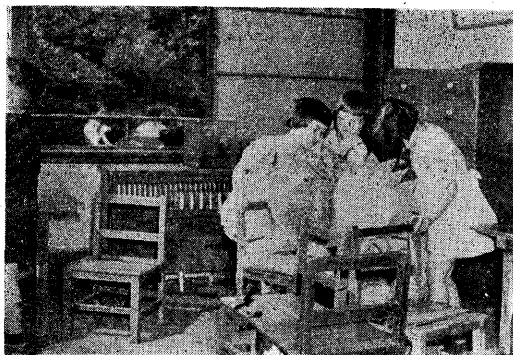
・動物園で遊ぶ。開園を一日にとどめず毎日毎日の状態においたが、子供達は動物は動物、人は人の考えで動物で遊ぶ親しさはみられなくなった。それで、左のような助言を与えた。

- ◎動物もおなががすくから朝と昼は食物をつくってやる
(その食物は紙で作ったり草をとってきてやつたりする)

- ◎動物の小屋を汚れたら掃除をして上る。

- ◎部屋の中全部が動物園なので子供達のお弁当も常に動

物園へ遠足のつもりで動物と一緒に食べたりした。



7 図

動物遊びの計画は一応興味の山へ来たわけだが、興味の山でぶつくと終了にしてしまいか又その展開は、移りゆきはとそこに問題がある。

子供達は適当に遊んではくれるが、発展もない遊びを続けさせても意味もなく又興味の山を急に他の遊びに転回させるのも幼児の精神的躰にもよくないと思う。で、先ず幼児の興味がどの程度であるかよく観察して後これを発展させるか次の遊びへ移行させるか決めるべきであろう。先生の計画だけで動かす事は考えるべきでその点よく興味の様子をする必要がある。

××× ××× ××× ×××

- ◎家にばかり入れておかなくて外へも出して遊んであげましょうといってから動物と前のように遊び始めた。
- ◎自分が動物と一緒に小屋に入って遊んでいるような様子も次第に現れてきた。

××× ××× ××× ×××

⑥動物遊びの終了と次の遊びへの展開、移り行き。

此処の幼児は一時興味が薄くなったようだったが動物園で遊ぶようになってから観察していると、又違った遊びが現れたり表現活動も前より盛んになったので、動物園に関係ある水族館を考えてみたがあまり幼児には興味が移らないようではやはり動物で面白く遊んでいるので一考した、又、大分柵や小屋もいたんで来たので幼児と相談して、「もう動物も皆と一緒に遊んで仲よくなったから柵をしなくてもにげていかないうちから柵はとりましょう」そして皆と一緒に遊んであげましょうと約して入口は「動物村」という看板にかきかえた。

幼児も動物も区別ない友達の関係にして椅子にこしかけた

り、遊びに入れたり、動物の幼稚園にしたりして部屋を動物の村にして、自由に扱わせた。

製作として及川先生より空箱利用の動物の家を教えていただき作ったのでこれと平行に製作する。

このように計画というのではなく、極端にいえば幼児も動物と同じに、時には動物も幼児と同じにというような考えで幼児を充分に動物遊びで満足させるよう環境としてこの計画としてみた。幼児も楽しそうで、動物になって話をしたり、例えばカンガールの子供がいなくなると母親をもって、大きいこえて「チビちゃんどこにいるの」とさがしてまわったりして楽しい雰囲気づくりかえされている。

III 評 価

○幼稚園の先生の立場としての評価

○遊びに現れた玩具は、抱いたり、自分達が親しく遊べるのが好ましいようだ。

○遊びとしての発展するものも幼児の中ではある程度で少しでも方向づけると、よりよい発展し、そこには新しい幼児の創作も生れてくる。

○それを導く場合、子供の遊びを継続させつつこちらの計画を幼児にきずかれないよう誘導してゆく事が必要であ

る。(それには助言が必要だ)

○大人の計画は動物園だが動物としてみるだけの動物園では興味を下げしてしまう。やはり常に幼児を動かして幼児と親しみをもちつつ、動物園に導かねばならない。

○誘導する計画は今までは売ったり買ったりしたお客様を呼ぶ所でその計画は終止したが、その次の遊びそれで遊ぶ事がよりその計画の目的を徹底させてくれるのだと思うし又それが幼児の生活の中に折込まれた形だと思う。

○計画の移行、特に全然別の計画への移行は特に注意し研究の要する事だと思う。

○家庭において見られる子供の動物に対する関心の変化。幼稚園で動物遊びを始めてから、家庭で子供の動物に対する関心が示されたか又どのような変化を示したかを見るために、質問紙を家庭に配布した。これは動物遊びを始めてから約四週間の後である。

全員三十七名についての回答の整理

①家庭で動物についての話が出たか否か。^{34/37}が家庭で多少少なかれ幼稚園の動物の話をしている。

②どの動物の話が最も多く出たか。

カンガルー

象

猿	6	動物園で動物で遊んだ話	17
きりん	3	幼稚園の動物を見に来てほしいという話	4
熊	3	動物についての質問	4
ライオン	2	動物園につれて行ってほしいというもの	6
ペンギン	1	自分の家の家畜に対する関心の大きくなったもの	8
		家庭で動物遊びをよくするようにしたもの	7
		動物の玩具のうちでもほしがるもの	11
		○協力遊びの向上に関する評価	
		此処に試みた一聯の動物遊びの経過の後に子供はどの位協力する事を経験しているだろうか。を正確に評価する事は極めて困難である。ただ子供達の一人一人が保育室全体の一つの遊びの中の役割の一端を荷うという経験をなし、又全体の協力によって出来上った一つの遊びのまとまりを見たという事は確であり、その経験が次には更に高い段階への協力の一つの踏石となっているであろう。	
		最後に、注意せねばならぬ事は、同じ動物の玩具で同じよ	

うに指導しても、子供の遊びの発展する形は、此処にあらわれたものとは違ったものになるだろうという事である。誘導法の原理は同じものであらうとも、遊びの発展は、それぞれのグループに応じて違ったものになるのは当然である。そして集団的な誘導保育において目指されるものは結局、その中の一人一人の子供に何か得るものがあって始めて意味があるのであり、従って全体の形にのみとらわれると誤まちを犯す事になるからこの点をよく注意せねばならない。

(51頁より続く)

- 金井建蔵 教員の生活時間構造(「児童心理」第六卷第十二号)
 文部省調査局統計課 小・中・高等学校教員の職務活動時間の
 実態(「教育統計」第二十七号)
 堀内敏夫 教師の精神衛生(児童問題新書「精神衛生」 昭和
 二十五年 金子書房)
 愛育研究所・社会事業研究所 本邦保育施設に関する調査 昭
 和十七年)
 西本 脩 保育者の精神衛生(「幼児の教育」第五二卷第一〇
 号同第二二号)

蟲を喰う植物の話



松 村 義 敏

野菜を作って見ると、害虫がついて、切角伸びた若葉が喰われてしまうことは誰も知っています。が、反対に植物が虫を喰うなどということは、一般にはめずらしいことだと思います。

ところが実際にこの様な植物は案外どこにも一種類か二種類位はあるのです。そして夏という季節は特にこの食虫植物の活躍するシーズンです。それは夏には虫も沢山いるからです。

虫を食う植物はその育っている所によって分けると、高山にあるもの、平地のもの、又その中でも乾地のもの、湿地のもの、或は水中のものなど色々あります。それから日本にあって外国にない

もの、外国にあって日本にないもの等様々です。
いまこれらを順を追って説明しましょう。

一、モウセンゴケの類

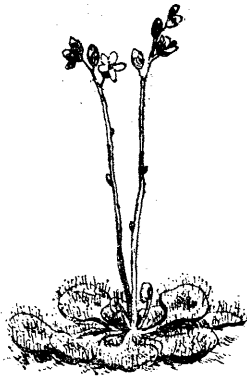
モウセンゴケ科

これはコケの類ではないのですが、コケの様に見えるのでこの様な名がついています。葉が杓子の様な形をしていて、その円い所は直径が一センチ以内の小さい葉で、その表面と周辺とは赤味のある毛が生えています。これを腺毛といいます。その先がふくれていて、そこから粘り液が出る様になっています。この様な葉が根本から放射状に出ています。

これは大抵ミスゴケの育っている様な湿地にミスゴケと一緒に育っていることが多いのですが、蚊の様な小さい昆虫が飛んで来てこの葉にとまって、指を伸ばした様に伸びた毛にふれると、その毛の先に出ている粘液のために、ねばりついて身動きが不自由になるのです。そのうちにこの外を向いて伸びた毛が、虫に感付か

れない速さでゆるゆると葉の中央に向けて曲って行って虫を押えるので、虫はいよいよ身動きならぬ様になるのです。

そうして虫のがれようと思ってもがいているうちに、植物の方ではこの毛の先から、虫をとかす液を出しますから、虫はとかされて、この葉の表面から吸収され、この植物の栄養になるのです。



(モウセンゴケ)

この種類には葉の形の異なった色々の種類のものがあつて、葉の小さいコモウセンゴケ、葉の細長いナガバノモウセンゴケ、葉が二又に分れたサスマタモウセンゴケ、アフリカ産のサジバモウセンゴケその他四又に分れたものもあります。

ナガバノモウセンゴケは日本ではめず

らしいもので、群馬県の尾瀬沼、其他にあり、夏の頃山に行くとなツアカネというトンボが沢山捕えられているのが見られます。コモウセンゴケは京都あたりにモウセンゴケは各地に見られますが、他は日本には野生していません。

モウセンゴケの仲間て湿地でなく、乾いた松林の下の地面に丈の高さでセンチから十五センチ位の高さのイシモチソウというのが出来ます。これは地面から伸びて来る時に葉の粘液にねばりついた小石を持ちあげて来るのでこの名があります。

やはり夏の頃イシモチソウはその長く伸びた葉の頂上に一つの白い花を咲かせますが、モウセンゴケは放射状に出た葉の一群の中心から長い穂を出しこれに花をつけます。

二、タヌキモとムジナモ

タヌキモ科

この種類のものはみな水中に生育する植物ですが、細かく枝が分岐して葉の様に見えます。その枝の所々に袋がついて

いて、この袋はせいぜい二・三ミリまでの大きさのものです。その中に沢山の虫が入って行って、とかされてしまっています。この袋の入口には、毛がはえており、その入口の中には内向きの扉があつて、一度中に入った虫は外に出られない様な仕組みになっています。この袋の中で虫があげばれているうちに、内側の壁に生えている毛にふれるとその毛からやはり消化液が分泌して、段々ととけて行きます。

タヌキモの類にはコタヌキモ、イトタヌキモ、ウサタヌキモなどがありますが何れも水の上に穂を抜き出し、黄色い花を咲かせます。この類のものは広くアジア、アメリカ、ヨーロッパにも見られますが、もちろん種類は国によって異り、又共通のものもあります。

タヌキモに似たもので今一つ水中にある食虫植物は、ムジナモといわれ、葉が車の輪の様に茎について水の中に浮いています。これは日本でもめずらしいので大切にされています。京都の北の方の深泥池という池の中にも見つかりました。

これはタヌキモとは全然別な種類のものですが同じ仲間のものでとも水の中のものなので一緒に説明したわけです。世界には三種類あつてヨーロッパ東インド及びオーストラリアにあります。

タヌキモもムジナモも、水の中で、冬を越すのですが、秋になると全身が枯れて枝の先の芽だけが残つて水の底の泥の中に沈みます。そして翌春水ぬるむころ再び水上に浮び上つて太陽の光をあびて伸び出すのです。それは水の底は割合に暖かであるからです。

三、ミミカキグサの類

タヌキモ科

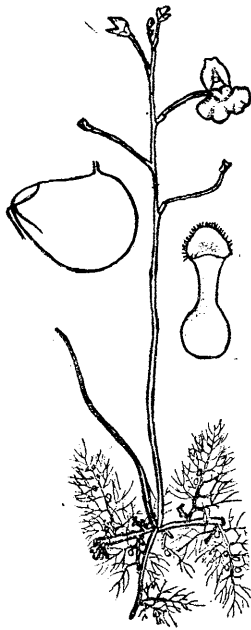
これも同じくタヌキモの仲間でありますが、その生育がタヌキモが水の中であるに反して、ミミカキグサは湿つた土中であるということが異なっています。

これもやはりきわめて小さい無数の葉を具えており、湿つた土中の極微細昆虫やプランクトンに頼するものを捕えます。

ミミカキグサはその花の咲いたあとに

残つた果実の形が、全くミミカキに似ている所から出た名であつて、その高さはせいぜい五センチ内外のものです。六月の頃山の谷間の湿つた所で鉄サビの水のしみ出ている様な所には、小さい沢山のミミカキ状のものが林立しているのが見られます。

この類にはミミカキグサの外、ホザキノミミカキグサとかムラサキミミカキグサなどがあり、ミミカキグサが黄色い花を咲かせるに反して、これらは薄紫の花を咲かせますが、何れも花はタヌキモの花を小さくした様なものです。葉も細いヘラ状のもので長さは一センチ以内のものです。



タヌキモ

四、ムシトリスマイレとユウシ

ソウ

タヌキモ科

日本アルプスの白馬岳の様な三千メートル級の山の稜線を行くと、僅かに湿りの多い様な草原の中に丁度スマイレの様な紫の花を咲かせているのが見られます。

これはスマイレの仲間ではなく、先程のタヌキモの類でありますが、その葉はタヌキモとは全く異なつていて、長さ二―三センチ幅一センチ半位の橢円形をしています。それが数枚放射状に出て、地面にピッタリとついています。そしてその中央から花が引き出ます。さてその葉は表面に虫を粘着させる様な毛がはえていて、

そこに蚊の様な小さい虫が沢山粘着しています。葉の両縁が表面の方へ巻き上っています。別にこれで虫を押えるというわけではない様です。

この仲間には世界に四十種類もあります。我が国には今一つコウシンソウというのがあって、これは足尾銅山の近くの庚申山で見付かったのでこの名があります。又日光の女峰にも火山岩の絶壁に沢山くっついていました。ムシトリスミレと異なる点は花の柄が二又に岐れる点と、葉がムシトリスミレより小さいという点です。

両方共栽培は非常にむづかしく特にコウシンソウなどは、私は日光の植物園で何回も試みましたが、山の岩やその生育地の土をそのまま持つて来て植えても、やはり二年と育ちませんでした。その点ではムシトリスミレの方が少々たやすい様です。

以上は日本に見られる食虫植物であります。この外、外国産のものは尙沢山あります。次にそれを少し紹介いたします。

五、ダーリングトニアとサ

ラセニア サラセニア科

これはコブラプランツともいって、その葉は丁度コブラという蛇が頭をもたげて舌を出した様な形をしています。大きは一尺位の高さで、筒状になって直立し、頂上はその筒の口をふたする様に曲っています。この筒の中には無数の毛がはえていて、これが消化液を分泌するのでこの筒の中にはまり込んだ昆虫はついにとけてしまうのです。むろん筒の中には逆さのトゲが生えていて一度落ち込んだ虫は絶対に出られない仕組みになっています。

これは北アメリカ合衆国のカリフォルニアから南方オレゴンの山にある湖水周囲の湿地お花畑に育っています。

これに近いものでサラセニアがあります。ダーリングトニアは只一種しかありませんが、サラセニアには七種あり、日本にも二―三種来ています。日光植物園の湿地帯に植えたサラセニア・プルブレアの如きは、ほとんど野生状態になっ

て、自然繁殖もしていますし、花も立派に咲きます。

北米東南部諸州が原産で四―五月頃に花が咲きます。

花は緑色で高さ三十センチ位の柄の上に直径四センチ位のコウモリ傘をひろげた様な形をしており、特に悪臭を放ちます。これは一寸クリの花の臭気に似ており、虫が好んで寄って来るものの様です。

こうして飛んで来た虫は、その上に開いた筒の様な葉の中におちこむと、その筒の中にたまっている液におぼれて死にますのでよく注意して見ると、この中は虫の屍で一ぱいです。

六、ネペンセス(瓶子草)

ヘインソウ科

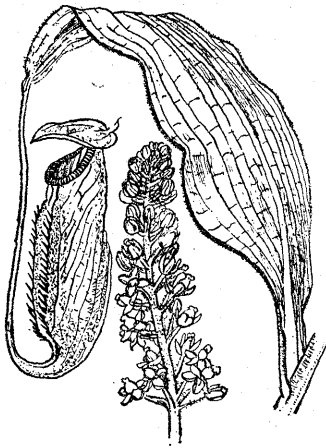
この植物は幾分蔓性でヒリッピンやマレーのジャングルの中の樹の上に育ち、枝にからみついていくものです。

その葉は長さ二―三十センチ、幅四五センチ位の葉身の先が伸びて細い蔓となり、その先が更にふくれて瓶の様な形

をして、口を上にしてぶら下っています
が、その瓶の形や大きさは種類によって色
々ですが大きいものでも長さ十一二十セ
ンチ位です。

瓶の口にはバネ仕掛けの様な蓋がつい
ていますが、蓋の効きはしません。もし
てその入口はすべりやすく、しかもその
内側には、下向きのトゲが生えていて、
虫はこの中にすべり込み、又落ちこんだ
虫はい上れない様になっています。

この中にはジャングルの中のアブやハ
チやハエ、その他、小鳥、ネズミなども
おち込むことがあります、よく漫画に



ヘイシソウ

これはやはり杓子型の葉をもってい
ますが、その円い部分は表面及び左右
の周辺に鋭いトゲがあります。そして
中肋が蝶番になってたてに二つ折りに
なる様に出来ていますから、ハエの様
な虫がこの中央部にとまり、表面の刺
にふれるとそれが刺戟になって、相当

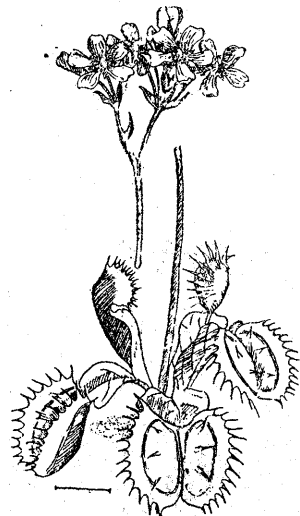
ある様に、リスや人間がおち込
む程大きなものはありません。

これにも種類は数種あり、日
本にも来ていますが何れも温室
でないと育ちません。花はウス
緑で直径五ミリ位で蔓の先に長
い穂が出て沢山の花をつけま
す。

七、ディオオネア(蠅取草)

モウセンゴケ科

これはハエジゴクともいいますが、ア
メリカのカロライナ州の湿った砂地にミ
ズゴケと一緒に育っています。モウセン
ゴケと同類のもので、同じく多年生で
あり、冬は放射状に出た葉が群の中心
に、越冬芽を形造って越冬します。



ハエジゴク

のスピードで、中肋に沿って二つ折りに
なり、この虫を板挟みにするので。そ
してしばらく二つ折りのままでいるうち
に、板挟みになった虫がとかされて吸収
されるのです。そうして吸収されると、
徐々に葉が開いて来るというわけ
です。

この運動は非常に興味のあることで、
虫がとまらぬでも、例えばツマ楊子の先
で軽くなでるだけでも運動を起し葉をた
たむのですが、併し、只一度だけなでた
のでは運動は起らず二回目になると始
めて葉をたたむのです。

花はこの放射状の葉群の中央から穂を

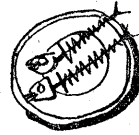
抽き散形花序となり、白い花が七月八月頃咲きますが、この点もモウセンゴケに似ています。

以上大体一通り食虫植物のことを申述べましたが、何れも肉食をし窒素養分や燐酸養分は葉からとることになりますから、特に根から吸収する必要もなく、一般に根の発達が悪いのが特徴になっています。殊に水中や湿地に出来るものが多いために水を吸収することも困難でありませんから、この点からも根が貧弱となつたものと考えられます。只乾地に出来るイシモチソウだけは多少根がよく発達しています。

この外虫を喰わないけれど虫を捕える植物としてはセキチク科のムシトリナデシコとユリ科のネバリノギランなどがあり、何れも花序の基部に粘着物を分泌するものです。そしてそこに無数の昆虫をくっつけているだけで、とかして吸収することはありません。

(仙台商網女子学院大学学長)

保育用具の展示会を



波多野完治

わたしたちの大学の幼稚園には、ゾーさん、キリンさん、クマさんがいます。といつても、もちろん、ほんものではありません。ぬいぐるみのおもちゃなのですが、ただ、それが大変大きいのです。

ゾーさんなどは子ども二人分ぐらいあります。このおもちゃを、子どもはおもちゃとおもっています。生きた、ほんものの、動物とおもっています。いや、動物以上に、おともだちとおもっています。スキップをするときも、おにごっこをするときも、一緒にいたします。まま

ごとのときは一番大切なお客様です。こういう大きな、しかもおとなしい動物のおともだちがいることで、子どもたちには幼稚園が大変たのしくなりました。

実は、わたしはこういうおもちゃの動物やそれと遊ぶ子どもたちをみていて思うのですが、どこの幼稚園にも、こういう「新しい保育用具」があるのではないのでしょうか。

ほかの幼稚園になくて、自分のところだけに偶然できてしまった、新しいおもちゃや、あそび道具です。

こういうおもちゃや道具を、一年に一べんぐらいずつ、みんなあつめて、展覧会をやることはできないものでしょうか。

保育教材業者の新工夫の品も展覧してもらって差支ありません。

毎年こういう試みをやると、日本の保育研究も、口ききだけのおしゃべりの段階を脱するのではないか、とおもうのですが、どうでしょうか。

教育職員免許法改正における

幼稚園関係の改正主要点の解説

玉 越 三 朗

昭和二十九年六月三日（法律第一五八号、第一五九号）わたくし達に關係深い教育職員免許法とその施行法の一部が改正された。こんどの改正は、形式的には従来と同じような一部改正であるが、本質的にはいままでの一部改正と違って、免許法を組立てている骨組となるような根本的なもの——免許状の種類や有効期間の変更、大学における教員養成の基準単位や上級免許状授与の方法の改正等——が改正された免許法制定以来の大改正であるので、今後の免許状の授与や単位のとりに大きな影響があると思うので、以下その主要点のうち主として幼稚園に關係ある部分について説明を加えてみることにする。

なお、こんどの改正は、免許法における重要な点が改正されているので、その実施には相當の準備期間があるので、従来とられていたような法律の公布と同時に施行するという方法でなく、公布の日（六月三日）から六ヶ月後に施行するという、半々年の準備期間を置くような方法をとっている。したがって、この改正された点は、今年の十二月三日から始めて効力が発生することになるのである。

一、免許状の種類

免許法にきめられている免許状の種類は、従来は普通免許状、仮免許状、臨時免許状であった。ところがこんどの改正で中間段階の

仮免許状がなくなった。また免許法の対象となる教職員の範圍が、従来は教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、講師、校長（園長）教育長、指導主事であったのが、校長（園長）教育長、指導主事は対象外となったので、免許状の種類は次のようになった。

□ 普通免許状 □

小学校教諭免許状・中学校教諭免許状・高等学校教諭免許状・養護学校教諭免許状・盲学校教諭免許状・ろう学校教諭免許状・養護教諭免許状・幼稚園教諭免許状

□ 臨時免許状 □

小学校助教諭免許状・中学校助教諭免許状

・高等学校助教諭免許状・養護学校助教諭免許状・盲学校助教諭免許状・ろう学校助教諭免許状・養護助教諭免許状・幼稚園助教諭免許状

右にかかげた普通免許状は、やはり一級および二級に分れているから、幼稚園の免許状の種類としては、次の三種類となることにな

○普通免許状

幼稚園教諭一級普通免許状

幼稚園教諭二級普通免許状

○臨時免許状

幼稚園助教諭免許状（免許法第二条、第四条）

二、大学における教員養成の基準単位の変更

1、普通免許状取得のための修得単位の変更

幼稚園教員となるための大学での修得単位の基準が次のように変った。

なお、改正前の基準単位を示すと、

免許状の種類	所要資格		基礎資格		大学における最低修得単位	
	一級普通免許状	二級普通免許状	一級普通免許状	二級普通免許状	一般教養科目	専門科目
幼稚園教諭	学士の称号を有すること	大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得すること	一六	一八	二八	二八
小学校教諭	学士の称号を有すること	大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得すること	一六	一八	二八	二八

免許状の種類	所要資格		基礎資格		大学に於ける最低修得単位	
	一級普通免許状	二級普通免許状	一級普通免許状	二級普通免許状	一般教養科目	専門科目
幼稚園教諭	学士の称号を有すること	大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得すること	一六	一八	二八	二八
小学校教諭	学士の称号を有すること	大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得すること	一六	一八	二八	二八

改正された修得単位の内容は、具体的にどのような科目を何単位修得するかはつきりしていない（近く文部省令で定められる）が、

教育職員養成審議会ではこれについて次のように答申している。いまこれを参考として現在のものと比較してみると次のような違いがある。

区 分	新（審議会の答申）		旧	
	専 門 科 目	免 許 状	専 門 科 目	免 許 状
二級普通 免 許 状	教科に 関する 専 門 科 目	教育心理 教育原理 教育実習 教育内容 の 研 究 計 選 択 二八単位	教科に 関する 専 門 科 目	教育心理、児童心理 教育原理 教育実習 教育内容の 研 究 計 選 択 二五単位
	音楽 図画工作 保健体育 計 八単位	音楽 図画工作 保健体育 計 二八単位	音楽 図画工作 保健体育 計 一二単位	音楽 図画工作 保健体育 計 二八単位
一級普通 免 許 状	教科に 関する 専 門 科 目	教育心理 教育原理 教育実習 教育内容 の 研 究 計 選 択 計一六単位	教科に 関する 専 門 科 目	教育心理、児童心理 教育原理 教育実習 教育内容の 研 究 計 選 択 一二単位 六単位 計 二四単位
	音楽 図画工作 保健体育 計 四単位	音楽 図画工作 保健体育 計 四単位	音楽 図画工作 保健体育 計 二単位	音楽 図画工作 保健体育 計 二単位

教職に 関する 専 門 科 目	教育心理 教育原理 教育実習 教育内容の 研 究 計 一八単位	教育心理、児童心理 教育原理 教育実習 教育内容の 研 究 計 二〇単位
	二単位 二単位 二単位 一二単位 一八単位	四単位 四単位 四単位 八単位 二〇単位

この表でわかるように、従来教科に関する専門科目として扱われていた「保育内容の研究」が教職に関する専門科目に移っており、一級では教科に関する専門科目が充実され、二級では教職に関する専門科目がやや軽視された感じがある。ことに教育心理や教育実習にその欠陥がみられる。しかしこれは他の

免許状をあわせとる場合などを考慮したのと学生に強制する単位をあまり多くし、選択の余地がないようにすることをさけた結果であるから、幼稚園教員だけを養成する場合は、各大学でこれらを相当多くする必要があるう。

2. 現に大学に在学し又は卒業した者の特例

改正法施行の際（十二月三日）現に大学に在学しているか、または既にこれを卒業した者は、改正前の単位数によって各科目を修得している。したがって、新しい単位数はとっていないから免許状がもらえないことになる。そこでこの不合理を是正するため、昭和

二十九年十二月三日現に大学に在學して
昭和三十四年三月三十一日までに改正前の免
許法別表第一に規定する所要資格を得た者、
および昭和二十九年十二月三日現に大学を卒
業して、改正前の免許法による資格を得
ている者は、そのままの単位を基礎資格とし
て免許状がもらえるようにした。(改正法附
則第一〇項)

三、仮免許状についての措置

1、改正前の法令によって仮免許状を授与
された者は、今後臨時免許状きりもら
えない

施行法第一条、第二条によって次の免許状
または資格を持っている者は、従来幼稚園の
仮免許状がもらえたが、十二月三日以後は臨
時免許状きりもらえなくなる。

(1) 国民学校初等科教員免許状を有する者
(2) 以下の者で、昭和二十二年四月一日以
後に幼稚園教員の職にいた者(現在いる
者はもちろんである)

イ、国民学校専科教員免許状を有する者
ロ、中学校高等女学校教員免許状、高等女
学校教員免許状、実業学校教員免許状を

有する者

ハ、高等学校高等科教員免許状、高等女学
校高等科及び専攻科教員免許状を有する
者

ニ、旧青年師範学校卒業者

ホ、旧青年学校教員養成所、実業学校教員
養成所卒業者

ヘ、旧大学令による学士の称号を有する者
ト、旧高等学校高等科又は専門学校卒業者
あるいは大学予科修了者

チ、旧教員養成諸学校、旧教員養成諸学校
官制第二条の規定による教員養成所卒業
者

リ、旧教員無試験検定指定学校又は許可学
校の卒業者

ス、高等学校教員無試験検定指定者

(施行法第一条の表の三、第二条の
表の二四の二)

2、改正前の法令によって仮免許状を得た
者の教諭の職にあることの特例

教員は免許状がなければ指導できないこと
になっている。ところが仮免許状が廃止され
るので、仮免許状を持っている者は十二月三
日以後は教員となれなくなってしまう。そこ

で次のような特例を設けて、この不合理を是
正することになった。

すなわち、改正前の免許法または施行法の
規定によって幼稚園教諭仮免許状を受けてい
る者、または改正法施行後一定期間内に幼稚
園教諭仮免許状に相当する資格を得る者、つ
まり助教諭で仮免許状をとるべく努力中の者
等については、一定期間内に仮免許状に相当
する資格を得た場合は、たとえ免許状がなく
てもその後教諭(講師を含む)の職について
いられるようにした。

いまこの該当資格とその期間を示すと次の
ようになる。

- (1) 昭和二十九年十二月三日現在
改正前の法令によって仮免許状
の授与又は交付を受けている者
(仮免許状を現に持っている者)
- (2) 改正前の施行法第一条の規定
によって仮免許状を有する者と
みなされている者(仮免許状を
現実を受けていない者)
- (3) 昭和二十九年十二月三日から
昭和三十三年三月三十一日まで
に改正前の免許法別表第一に規
定する単位を大学で修得した者
(幼稚園教員養成所修了者又は
- は昭和
三十八
年三月
三十一
日まで
教諭の
職(講

大学一年修了者で所定の単位を修得した者)

(4) 昭和二十九年十二月三日から昭和三十三年三月三十一日まで文部省令の定めるところによつて、改正前の免許法別表第四に規定する仮免許状の所要単位を修得した者(臨時免許状を持つていて、経歴年数と単位の修得で仮許免状をもらう資格を得た者)

なお、以上の者は十二月三日現在、現職にいないてもその資格はあるのである。(法附則第二項、第三項)

3、2に該当する者が教育職員検定によつて上級の二級免許状をとるときの特例

2に述べた者が教育職員検定によつて、さらに上級の免許状の二級普通免許状をとろうとするときは、本来ならば仮免許状が廃止されているから「五上級免許状をとる方法」に述べてある臨時免許状から二級普通免許状をとるに必要な六年以上の教職経験とその間における四五単位の修得を必要とするが、ここに特例を設けてこれらの者は次の教職経験年数や単位でよいことにした。

(1) 最低在職年数 2に述べた資格を得てから三年

最低単位数 2に述べた資格(教諭の職にあることのできる資格)を得た後、

大学又は認定講習で一五単位を修得する

なお、その人が修業年限四年の教員養成諸学校を卒業しているかまたは修業年限四年以上の専門学校を卒業しているときは、最低在職年数は一年、最低単位数は一〇単位でよいことになっている(法附則第四項)また、以上の単位の内容は省令で定められることになっている。

四、臨時免許状の有効期間の延長

臨時免許状の授与は、普通免許状を持つて

いる者を採用することができない場合に限り、教員の欠格条件に該当しない者から採用することは従来と変りないが、こんどの改正でさらに教職員検定に合格した者であることがつけ加えられた(法第五条第三項)。さらにその有効期間は、その免許状が授与された都道府県内に限つて一年間であつたのが、三年間に延長された。またその特例として、当分の間、相当期間にわたつて普通免許状を持つ

っている者を採用できない場合は、都道府県の教育委員会と都道府県知事が協議して、都道府県の教育委員会規則や都道府県規則で、その有効期間を六年とすることができるようになった。(従来は二年間で、特別の事情がある都道府県で政令で定められた都道府県は三年間まで延長できた)

この臨時免許状の有効期間の延びたのは、仮免許状が廃止された結果臨時免許状から二級普通免許状に一足飛びにいくことになるから、その間の教職経験年数を考へてのことである。(法附則第九項改正法附則第七項)

五、上級免許状をとる方法

1、上級免許状をとるときの教職経験年数と単位の変更

旧免許状を持つてゐる者や学歴によつて免許状が得られる者(施行法第一条、第二条によつて)が、それに相当する免許状をとつて、さらに教育職員検定によつて上級の免許状をとろうとするときの教職経験年数と最低修得単位数が次のように変つた。(法第六条別表三、旧別表四)

区分		新		旧	
第一欄	第二欄	新		旧	
受けるようとする免許状の種類	有することをする必要とする第一欄にかかげる学校の教員免許状の種類	第二欄に掲げる各免許状を掲げる者のうち、第一欄に掲げる学校教員と勤務した良好な成績を有するものを必要とする最低在職年数	第二欄に掲げる各免許状を掲げる者のうち、大学に在学中の者、第二欄に掲げる学校教員として勤務した良好な成績を有するものを必要とする最低在職年数	第二欄に掲げる各免許状を有し、第一欄に掲げる学校教員として勤務した良好な成績を有するものを必要とする最低在職年数	大学に在学中の者の最低修得単位
一級普通免許状 二級普通免許状 二級普通免許状 仮免許状 臨時免許状	二級普通免許状 臨時免許状 臨時免許状 臨時免許状 臨時免許状	五年 六 六 六 六	単位 四五 四五 四五 四五	五年 三 三 三 三	単位 四五 四五 四五 四五

(1) 改正前の表は、小学校と幼稚園が同じ欄であったが、改正後は別欄となったので幼稚園と小学校の勤務年数は通算できなくなった。また、単位はそれぞれ基礎となる免許状を取得してから後のものでないと計算されなくなった。(法附則第五項、旧第六項)

(2) 上級免許状をとろうとする者が、最低在職年数(臨時免許状から二級免許状をとるときは六年、二級免許状から一級免許状をとるときは五年)をこえる在職年数があつて、しかも修得単位が一五単位以上あるときは、

教職経験年数を尊重して最低在職年数(六年、五年)をこえる年数一年について五単位の割合で、一五単位を限度としてそれぞれ四五単位から差引けるようになった。(この教職年数には、文部省令で定める教育の職にあつた年数も加えられる)(別表第三備考五)

(3) (2)の特例として、二級普通免許状を持つてゐる者で、一級普通免許状をとろうとする者が、在職年数一五年以上であるときは単位はとらなくてもよいことになった。(この場合の在職年数についても(2)と同じである

が、五年以上の場合には五年として計算される)(別表第三備考六)

いま(2)、(3)のことを表にしてみると次のようになる。

六年のときは	五年のときは	四年のときは	三年のときは	二年のときは	一年のときは	半年のときは
四〇単位	四五単位	四五単位	四五単位	四五単位	四五単位	四五単位
七年	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
八年	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
九年	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
一〇年	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
一一年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一二年	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
一三年	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇
一四年	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
一五年	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇

(4) すでに述べたように、仮免許状を持つてゐる者又は持つ資格のある者あるいは一定期間内に持てる者が、臨時免許状から二級普通免許状をとる場合は、経験年数は三年、単位は一五単位でよく、この者が修業年限四年の教員養成学校卒業業者、あるいは修業年限四年以上の専門学校の卒業業者であるときは、経

験年数は一年、単位は一〇単位でよい。（法附則第九項第一〇項）

(5) 別表三によつて上級免許状の授与を受けようとするときは、その教職経験年数を小学校から最終学校又は文部省令で定める教員養成機関を卒業し、又は修了するに至るまでの学校の修業年数が、通算して臨時免許状の場合は一二年、二級免許状の場合は一四年、仮免許状の場合は一三年を超過したときまたは不足するときは、その超過した年数は在職年数に加え、不足する年数は在職年数から差引くことになっていたが、このうち仮免許状についてはなくなった。（施行法第七條第二項）

六、園長の任用資格

園長免許状は、十二月三日から廢止されることはさきに述べた。そして国立と公立の園長については、任用資格となった。いまその任用資格をみると（教育公務員特例法の第十三條第三項）教育職員免許法による教諭の一級普通免許状を持っていて、かつ五年以上教員の職又は官公庁あるいは私立学校における教育事務に関する職その他文部省令で定める

教育に関する職にあつた者ということになっている。この一級普通免許状と五年の教職経験は、一級普通免許状をとつてから後五年の経験を必要とするという意味でなく、一級普通免許状を持っていることと、五年の経験年数との両条件があればよいという意味である。

なお、その特例として一級普通免許状を有し、かつ、五年以上の経験を持っている者がいない場合、またはそのなかに適当な人がいない場合に限つて、二級普通免許状を持っている者、かつ、五年の経験年数を持っているものでもよいこととなっている。（教育職員免許法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理に関する法律の附則第二項）

さらに特例の二として、改正前の免許法または施行法によつて、園長免許状をもらつてゐる者は、さきに述べた資格がなくても園長となる資格を有するものとみなされる。（整理法附則第五項）

なお、私立幼稚園の園長については、こんどの法律では別段きめていないが、こんど改正で、校長および教員の資格は、免許法の適用を受ける者以外は「別に法律に定めるもの

の外」監督庁（この場合文部大臣）がこれを定めることとなった（学校教育法第八條）ので、私立幼稚園の園長の資格については、文部省令で国、公立の園長の資格に準じて定められることになる。

ここに私立学校の校長の資格についての教育職員養成審議会の答申を参考のためにあげておこう。

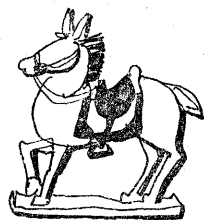
- (1) 略（国、公立の園長の資格について）
- (2) 私立学校においては、前号に掲げる資格を有する者の中から適当な者を得ることができない場合に限り、公的な審査委員会の議を経て適当と認めた者を校長にあてることができる。

さらに改正前の施行法第八條によれば、園長仮免許状を有するものとみなされた者は、免許状第三條第一項の規定にかかわらず、昭和三十年三月三十一日まで免許状を有しないでもよかったが、こんどの改正でこの規定が削除された。

七、幼稚園教員養成機関

- 1、文部大臣指定の養成機関の年限延長
こんどの改正で、（9頁に続く）

育て教える



黒 木 一 男

学生時代、勉強より馬の事に精進して
いました。馬が好きで、馬に接したのは
旧制高等学校一年の時からでしたが、大
学に入学してからは、大学馬術部に十五
六頭馬が飼育してあったことから、毎日
馬を飼い馬に乗り、馬の手入をする事に
夢中になりました。そのうち、馬を調教
(一般の人が乗れる様に教え、馴れる)
する事になりました。

毎年農林省の牧場から数頭の新馬がい
たっていました。それらの新馬は、広
い自然の天地に育った三歳の仔馬です。

人間で申しますと、愛情に満ち満ちた
家庭で、人間の成長にふさわしい環境を
与えられてのびのびと育ち、幼稚園に入
園して来る幼児のようなものだと思います。

私達調教にあたる者は、この純心無垢
な新馬が、京都の貨物駅に到着する日を
千秋の想いで待ちました。

新馬の血統・性質体格並びに毛色の特
徴等は前もって書類で知らせて来てあり
ますので、新馬に関する大体の予想は一
応はつきますものの、私達はその新馬の

細部につきましては希望の姿を思い浮べ
ながら、厩舎の準備をととのえます。新
しい札に名前を書き、飼桶を新調し、馬
の手入道具等も新しいものを用意する等
この新入児に対する十二分の心からの歓
迎の準備を致します。

御存知の先生方も多いと存じますが、
馬は血統によりまして人相が否馬相がほ
ぼ類型的にわかつています。それに毛並
の特徴や体格の概要を書類で見ますと、
長顔か丸顔か、気品のある顔か可愛い
顔か、更に八トウ身か六トウ身かまで、
その姿を描く事が出来ます。それは、私
達が、幼稚園の新入園児を書類でしらべ
て大体の概念をつかむ以上にはつきりと
つかめます。尙初対面から馬は着物を着
ていませんで、云わばまる裸でございます。
それで服装や言葉遣等によつてご
まかされる事なく私達が新入児を判断す
る以上に正確判断が出来ます。裸と云う
事は有難い事でございます。

新馬が駅につきます時は、お出迎に参
ります。私達人間だけが出かけるのでは

なくて、病氣している馬や、特にヤンチャで人に迷惑をかける馬は厩舎でお留守番ですが、その他の古馬は、全馬揃って参ります。大体は人通の少くなる夜参ります。

馬同志の初対面はイナナキで各自銘々致します。新入園児を大きい組の園児がお迎えする時の様なよこびと、なごやかさがございます。

新馬は駅から大学までハイヤーでとうわけにはまいりませんので、歩いていただきます田舎の山や森や野原しか知らぬ新馬が初めて踏む都会のアスファルト星の代りにネオンの輝きですので、すべてが物珍らしく、更に身近に接した事のない電車、自動車が走りますので、戸まどい致します。それで古馬が前後左右に並んで、新馬が驚かぬ様、あわてぬ様、歩き方も速度をおとしていたわりながら大学まで御案内、御伴致します。誠に人間のすべての世界にあらましい風景でございます。新馬は真心こめて準備された各自の馬房におはりになります。厩舎は

真中に通路があり、通路の両側に馬房が並んでいますので、通路をはさんでお互が顔を合せる事になります。

それで新馬の向い側の表房には古馬の中の優等生を入れます。両隣は身近で顔と顔をつき合せる事の出来る間柄です。ここにも優等生を住ませます。向う三軒両隣とは人間の世界ばかりではないようです。これは新馬が新しい社会生活に入って正しい生活の仕方を見習うためです。共同生活に於けるの感化は、馬の世界でも幼稚園でも御同様でございます。しかし立派に仕込まれた馬の優等生は、人間で云えば模範的人物ですから、幼稚園の大きい組のお子様とは比較にならない程、出来上つていますので、立派なお手本を示してくれます。クラス編成をとらないだけにこの様な心くばりを致します。新馬が二、三頭の時には隣り同志の馬房に入れます。淋しがらせないためです。

これは隣同志の席に座らせると同じ考えでございます。この様に新馬の向う

四五軒両隣りを古馬の優等生の馬房と致します。この着席の仕方等、新入生の歓迎会、お誕生会等の時に用いられないでしょうか。

それからどの新馬を誰が調教するかと決定しなくてはなりません。どの幼児をどの先生が受持つかと云う事です。私達の馬の場合は、一頭の馬に一人の調教者と云う一対一の組合せです。それで或る意味から申しますと最も徹底した教育が行われる強味がありますが、その反面、強味は直ちに弱点ともなるおそれがあります。それは調教者の性格がよかれあしかれ直ちに馬の性格にうつると云う事です。教師と幼児が一対一の場合には、教師の性格が幼児の性格に大きな影響を与えますが、それ以上のものがございません。それは調教者が、馬の食事から、水（お茶）の世話は勿論、馬房の清掃から馬の手入まで一切を他人にたのまず自分で致しますので、園児は家庭から幼稚園に通いますし、同じ組の園児は一緒に多くの場合保育されます。即ち園児は家族

友人、社会の人々の影響を受けながら保育されますが、新馬は他の馬と切りはなしての一対一で教育されます。

短気な調教者に教育されると馬も短気になり、気の長い調教者に調教されますと、気長になります。茶目気のある調教者の馬はよく似たものだと思心する程の茶目気を發揮する様になります。

そこで特殊な馬に育てず一般馬に育てる場合には、調教者は馬に対しては十二分の愛情を持ち調教の技術は身につけているのは勿論ですが、性格的には反対の性格をもった調教者と馬とを組み合わせます。

短気と短気を組合せますととてもない短気な馬となるからです。のんびりとのんびりの場合も同様です。

この性格的に相反した人、馬の組合せですと、調教が終る頃には馬の素質変え得ぬにしても、割合中庸を得た性格に近づきます。更には、短気な調教者も逆に馬の気長に教育されて「短気は損気」の御教えを身につける様になります。教育

する事は一面教育される事ではないでしょうか。

三歳馬ですと、一般に脚が弱く、骨も軟かですからいきなり乗って教えるわけには参りません。無理しますと、脚の骨に瘤が出来たり致します。幼児にいきなり無理なオイチニ式の基本体操を厳格にさせられないのと同じでございます。しかし調教（おけいこ）は開始しなくてはなりません。

先ず馬に日常の生活指導を致します。牧場での生活と生活が一変しますので環境になれさせなくてはなりません。環境への適応です。

牧場にいる時には自由に運動していたのですが、これからは調教者（教師）の指導で運動をさせます。この生活、並に運動指導の時に、書類に書かれていた馬の性質と、現実の馬に対しての調教者の判断による性質とを考え合せながら、新環境に入った馬の性格をたしかめながら望ましい、しかも個性豊かな馬へと導き教えるのです。園児の身上調書をよくし

らべた上、目の前の園児の姿を考え合せて保育するのと全く同じでございます。

馬に運動させる場合、特に馬を放つて馬と一緒に遊ぶ、鬼ゴツコの時等に、よく馬の個性があらわれます。馬は走る事に一つの特徴がある動物だからでしょう。調教者が鬼になり馬が逃げる場合の逃げ方逃ツブリ、仲々個性が出ます。逆に馬が鬼になった時の馳り方、探し方、馬の持つて生れた知能も共に發揮致します。この馬との遊びは調教上の重要な役目を果します。私はこの馬との遊びを、幼児の自由遊びの時の先生と幼児との関係に似たものがあると思います。

「万物の霊長たる人間のお子様の保育と、馬の仔の教育とを同一に考えるとほけしからぬ」との世のお父様お母様方のお叱りを覚悟しながらここまで書いて参りましたが、決して園児を馬に育てようと思つているわけではありません。唯人間も馬も動物である点だけはお許し下さい。

（鹿児島大学附属幼稚園長）

保育者の生活時間に関する実態調査

日本保育学会

第七回大会研究発表

——保育者の精神衛生(三)——

頤榮短期大学 西 本 脩

ま え が き

保育者になりたいという人の動機を聞いてみると、中には「幼稚園は勤務が楽だから」と云う者もあり、世間一般でも、保育者は小さい子供を相手に遊んでおればよいし、子供を昼頃か遅くて二時頃に帰してしまえば、それで終りで、楽な仕事と考えている人が多い。果して保育者の勤務はその様に楽なものであるうか。また一方、現場の保育者の口からは、「私達の仕事は過重である」と云う声をよく聞く。そして一園あたりの保育者の定員数を増す事とか、事務職員を置く事などが要望されている。事実、保育者は幼稚園、保育所の諸事務と各種の雑務におわれて、一人一人の幼児に対する保育指導が時間的にも精神的にも圧迫を受けている様である。

それでは実際には、保育者はどの様な仕事にどれだけの時間を費しているのであらうか。その実態を知る為に、この調査を行った。勿論、仕事の負担は、その仕事に費した時間の量だけできめる事は

出来ない。たとえ同じ量の仕事でも、保育者各人の能率によって、時間の差があるだろうし、同じ時間量でも、個々の仕事の難易の度などによって、精神的負担に差異があるだろう。しかしながら、時間量によって、仕事の負担の一般的な傾向を知る事が出来るし、また保育者の生活内容にどんなものがあり、それにどの程度の重みがかけられているかという事を知る事も必要であると考えられる。従って、この調査においては、保育者の一日の生活の実態を、主として時間量の面から見る事にした。

調査の方法

調査票 保育者の生活の実態に触れるために、図のような、十分単位に区分した「生活時程記録票」を作り、保育者各自の一日中の生活をそのまま記録してもらった。特に、ふだんのままの生活を、ありのままに記録するようにと依頼した。尚、併せて、保育者の年令・配偶者の有無・子供の有無などを記入してもらった。

生活時程調査票

月 日 曜日 天候()

午前 0時	30	1	30	2	30	3	30	4	30	5	30	6	30	7	30	8
午前 8時	30	9	30	10	30	11	30	正午 12	30	午後 1	30	2	30	3	30	4
午後 4時	30	5	30	6	30	7	30	8	30	9	30	10	30	11	30	12

調査期日

保育者の生活内容及び時間は、日により、季節により、変動のあることが当然考えられるので、理想的には、各季節にわたって、しかもかなり長期間継続して調査すべきであるが、それは種々の事情により困難なため、今回は幼稚園・保育所の特別行事のない平日（平常通りの保育のある日）を選んで、各自任意の二日間（一日をも併せて記録してもらった。その時期は、昭和二十九年一月中旬から四月中旬にわたっている。）に記録してもらった。又平日の生活と比較対照するために、休日

調査の対象

全国の保育者のしつかり調査は不可能なため、地域、公私立の別などを考慮して、なるべく各種の幼稚園・保育所に勤務している保育者を選ぶようにした。神戸市、西宮市、姫路市、明石市、尼崎市、芦屋市の公立幼稚園五〇園、保育所二二施設を選び、各施設の教諭・助教諭・保母合計三五〇名に前記の調査票を三部ずつ配布した。記録をよせられたものの中には、三日とも記録したものもあり、二日間あるいは一日だけのものもあった。またそれらの中にも、記入の不備なものや、信頼性の疑わしいものがあり、それらを除いたので、実数は第一表の如く、平日延三二五名、休日延一六二名となった。

結果の概要

保育者の一日の生活内容には、きわめて多くの種類があり、各種の観点から種々のまとめ方が考えられるが、ここでは一応便宜上、次の様に分類した。

一、職務時間……保育者としての職務の活動に費される時間であ

第I表 A

	20才以下	21—30才	31—40才	41才以上	不 明	計
公 幼	14人	71人	22人	6人	7人	120人
私 幼	2	16	3人	0	0	21
保	1	13	2	3	0	19
計	17	100	27	9	7	160

B

	配 偶 者 の 有 無				不 明	計
	未 婚	有	離 別	死 別		
公 幼	57人	34人	5人	15人	9人	120人
私 幼	13	6	0	1	1	21
保	12	4	1	0人	2	19
計	82	44	6	16	12	160

C

	子 供 の 有 無		不 明	計
	有	無		
公 幼	37人	74人	9人	120人
私 幼	4	16人	1	21
保	3	15人	1	19
計	44	105	11	160

A, B, Cは調査人員
実数Dは調査人員延数

D

	平 日	休 日	計
公 幼	229人	119人	348人
私 幼	48	24	72
保	38	19	57
計	315	162	477

る。これを更に次のように分類する事が出来る。

A、保育指導時間……直接、間接に幼児の指導をする時間

a、直接保育に当る時間

b、保護者との応接

c、家庭訪問

B、園務時間……担任の組や園全般に関する事務及び作業の時間

d、組の事務……保育日誌をつける事、保育料の収納など

e、組の作業……保育室の整理掃除、子供の見送りなど

f、打合せ職員会議

g、園の事務……帳簿、報告書作製、諸届など

h、園の作業……園の掃除、謄写印刷、動植物の世話など

C、準備時間……直接当面した保育のための準備の時間。保育案を立てる事、手技材料を用意しておく事など

D、研修時間……広い意味では、準備時間に入るかも知れないが、保育者の資質を向上するための研修の時間

i、園内研究

j、園外研究……研究保育参観、研究会等

k、通信教育、レポート作製

l、認定講習、夜間学部、講習会

m、自己研修

二、非職務時間……保育者としての職務を離れて行われる活動の時間。したがって、保育者であるか否にかかわらず、この時間の活動の種類は同じである。

い、常規……日常生活において習慣となっているもの

イ、睡眠

ロ、食事

ハ、身仕度……洗面、着衣、入浴、美容等

ろ、家事労働時間

ニ、炊事……調理、後片付けなど

ホ、買物

ヘ、裁縫……つくりもの、縫物、編物、アイロンなど

ト、洗濯

チ、掃除

リ、授乳、託児

ヌ、子供の相手・世話

ル、その他の家事雑用……飼育栽培その他

は、文化的時間

ヲ、新聞

ワ、ラジオ

カ、読書

ヨ、書きもの……日記家計簿など

タ、趣味……おけいこことを含む

レ、宗教礼拝、勤行など

に、社会的時間……社交、交際のための時間

ソ、会合・集会

ツ、訪問・応接

ネ、手紙

ナ、組合活動

は、リクリエーション時間

ラ、休息・雑談

ム、娯楽

ウ、運動・散歩

キ、喫茶・飲食

へ、その他……外出時交通時間、医療など

三、準職務時間……職務、非職務両時間の中間的性格を持つ活動時間、主として

と、通勤時間

次に、以上の分類に従って、結果を順次、簡単に述べてみよう。

一、就寝・起床時刻及び睡眠時間について

公私立幼稚園教諭及び保育所保育母の平日及び休日における就寝時刻、起床時刻の平均及び平均偏差(M・V)を示すと、第二表の如くなる。この表によってみると、

1、就寝時刻は平日休日共に公立幼稚園教諭が一番早く、私立幼稚園教諭、保育所保育母の順になっている。もっとも、その差は約三〇分程であるし、公立幼稚園の平日及び保育所の休日の偏差が大きいため、それぞれ早寝のものと遅寝のものと相当開きがあるわけである。従って公立幼稚園教諭は早寝で保育所保育母が遅寝であるといがいには云えないであらう。

2、公私立幼稚園教諭、保育所保育母のいずれの場合でも、休日の方が平日よりも平均一〇分前後早く寝ている。

3、起床時刻はいずれの場合でも、休日の方が平日よりも三〇分ないし一時間くらい遅くなっている。また休日の方が平日よりも偏

第2表

		平	日	休	日
就寝時刻	公幼	時分 10.39(41.01)	時分 10.31(36.69)		
	私幼	10.49(38.5)	10.37(38.83)		
	保	11.15(29.25)	11.04(40.05)		
起床時刻	公幼	時分 6.39(29.4)	時分 7.14(43.86)		
	私幼	6.39(35.62)	7.24(36.08)		
	保	6.39(33.31)	7.42(47.52)		

第3表

		平	日	休	日
睡眠時間	公幼	時分 7.44	時分 8.43		
	私幼	7.56	8.47		
	保	7.24	8.38		

註 () 内は平均偏差 (M・V) を示す
公幼は公立幼稚園教諭
私幼は私立幼稚園教諭
保は公立保育所保育母を示す
(以下同じ)

差が大であるから、平日は皆が大体揃って六時三〇分から七時頃に起るのに対して、休日は各自まちまちの時間に起るものと考えられる。

4、また睡眠時間は第三表のように、公私立幼稚園教諭、保育所保育母の差はわずかであるが、保育所保育母が平日休日共一番短くなっている。平日と休日とを比較すると、いずれも休日の方が約一時間程長くなっている。

二、出勤・退勤時刻及び勤務時間について

公私立幼稚園教諭及び保育所保育母の出勤時刻、退勤時刻、勤務時間の平均値及び平均偏差を示すと第四表及び第五表のようになる。

この表から、

1、出勤時刻はいずれも

第5表

	勤 務 時 間	
	A V.	M. V.
公幼	時間分 9.00	54.43
私幼	10.03	84.12
保	9.27	67.10

第4表

	出 勤 時 刻	退 出 時 刻
公幼	時 分 8.30(14.01)	時 分 5.30(52.99)
私幼	8.46(12.16)	6.49(79.75)
保	8.33(24.16)	5.59(53.68)

偏差が少ない。従って、大体皆が揃って八時三〇分頃に出勤している。私立幼稚園教諭が他と比較してやや遅い。

2、退出時刻は出勤時刻に比して、きわめて偏差が大きい。従って、各人でかなり異なる。三者を比較した場合、私立幼稚園教諭が最も遅くなっている。しかし、これも偏差が特に大きいので、実際には、早く退出する者と遅く退出する者と、かなりの時間差があるように思われる。

3、勤務時間については、右記(1、2)からも明らかな様に、私立幼稚園教諭が最も長くて約一〇時間、次が保育所保育の九時間二七分、一番短いのが公立幼稚園教諭の九時間となっている。もっとも私立幼稚園の場合は偏差が非常に大きいので、園によって、或いは人によってかなり差があるようであるから、一がいには云えないかも知れない。以上の如く、一番短かな公立幼稚園

の場合でも、労務基準法の八時間を一時間以上まわっているから、保育者の勤務時間が、他の職業に比して短いと考えるのは当たらない。文部省の調査によれば、小・中学校教員の勤務時間は共に九時間一九分、高等学校教員は八時間二三分となっているから大体小・中学校教員の勤務時間と類似してる。

三、平日の生活内容の一般的傾向

公立幼稚園教諭及び保育所保育一人当りの一日の平均生活時間を示

第6表

		職 務 時 間		非職務時間		非(その他)		準職務時間		合 計	
		時間(分)	%	時間(分)	%	時間(分)	%	時間(分)	%	時間(分)	%
公幼	平日	493.3	34.3	879.2	61.1	10.5	0.7	57	3.9	1440	100
	休日	72.3	5.0	1301	90.4	57.7	4.0	9	0.6	1440	100
私幼	平日	537	37.3	796.4	55.3	38.6	2.7	68	4.7	1440	100
	休日	23	1.6	1320	91.7	97	6.7	0	0	1440	100
平均	平日	515.2	35.8	837.8	58.2	24.5	1.7	62.5	4.3	1440	100
	休日	47.7	3.3	1310.5	91.1	77.3	5.3	4.5	0.3	1440	100
保	平日	530	36.8	823	57.2	19	1.3	68	4.7	1440	100
	休日	126	8.8	1240	86.1	74	5.1	0	0	1440	100

すと第六表の様になる。この表からいじめるしい事実を挙げると、

1、職務時間は三者の間であまり差がないが、一日の全生活時間に対する割合からみると、私立幼稚園教諭が三七・三%で最も多く次が保育所保育母の三六・八一%、番少いのが公立幼稚園教諭の三四・三%となっている。私立幼稚園と保育所の差は僅少である。

2、非職務時間は、職務時間の順とは逆で、公立幼稚園教諭が六一・八%で最も多く、保育所保育母の五八・五%がこれに次ぎ、私立幼稚園教諭が五八・〇%で一番少くなっている。私立幼稚園と保育所とは殆んど差がない。

3、準職務時間である通勤時間は、三者の間で、余り差がなく、いずれも大体一時間前後で、一日の生活時間の四%余りである。

4、既述の勤務時間(第五表)と職務時間の差を見ると、私立幼稚園教諭が最も多くて、六六分となり、次が公立幼稚園教諭の四六・七分で、一番少いのが保育所保育母の三七分である。この時間は幼稚園・保育所に勤務してはいるが、職務以外のことに費されている時間である。この中には勿論、休息の時間のように必要なものもあるが、必要以上の無駄な時間があるとすれば考えなければならぬ。

四、休日の生活内容の一般的傾向

第六表によって見ると、

1、休日においても、時間は余り長くはないが、保育者の職務活動が行われていることを知る。保育所保育母が最も長く、二時間六分で、全生活時間の八・八%、次いで公立幼稚園教諭の二時間一二分五・〇%、私立幼稚園教諭の二三分、一・六%の順になっている。

2、当然のことではあるが、非職務時間は一日の大部分を占めており、私立幼稚園教諭が九八・四%で最も多く、次が公立幼稚園教諭の九四・四%、一番少いのが保育所保育母の九一・二%となっている。

3、準職務時間である通勤時間については、公立幼稚園教諭のごく一部の人が出勤しただけで、他は出勤してないので殆どない。

5、次にこれらの生活時間の内容について、具体的に見てみよう。まず職務時間の内容について、一人当たり平均時間を示すと、第七表となる。

この表に見られるように。

1 公立幼稚園教諭においては、直接間接に幼児を保育指導する時間が、そのなかばを占め、一日平均四時間三分で四九・三%、次に多いのは「園務」の三時間八分、三八・一%で、総勤務時間の約三分の一に当たっている。ついで「準備」の三三分で六・七%、「研修」の二九・三分、五・九%という順になっている。

2、私立幼稚園教諭では、「保育指導」が三時間五七分で、四四・一%となり、公立幼稚園に比し、やや少くなっているが、これに対し、「園務」が四時間二〇分、五〇・三%とその半ば以上を占め、公立幼稚園より約一時間多くなっている。そして「準備」や「研修」時間が夫々四・一%、一・五%と公立幼稚園より少くなっている。

3、保育所保育母の場合は「保育指導」が六時間二三分で、全勤務時間の七二・三%を占め、公私立幼稚園教諭よりも、ずっと多くな

第7表

		平 日			休 日		
		公 幼	私 幼	保	公 幼	私 幼	保
A 保 育 指 導	a 直 保	236	222		1		
	b 保 応	4	5		1		
	c 家 訪	3	10		0.3		
	計	243 (49.3)	237 (44.1)	383 (72.3)	2.3 (3.2)	0 (0)	0 (0)
B 園	d 組 務	46	44		9		
	e 組 業	40	57		9		
	f 職 会	28	27		9		
	g 園 務	37	22		11		
	h 園 業	37	120		4		
	務 計	188 (38.7)	270 (50.3)	109 (20.6)	42 (58.1)	0 (0)	3 (2.4)
C	準 備	33 (6.7)	22 (4.1)	33 (6.2)	8 (11.1)	15 (65.2)	3 (3.2)
D 研	i 内 研	2	4		0	0	
	j 外 研	4	0		0	0	
	k 通 教	0.3	0		0	0	
	l 講 夜	9	1		3	0	
	m 自 研	14	3		17	8	
修	計	29.3 (5.9)	8 (1.5)	5 (0.9)	20 (27.6)	8 (34.8)	119 (94.4)
合	計	493.3 (100)	537 (100)	530 (100)	72.3 (100)	23 (100)	126 (100)

つてゐるのは、保育所の性格から考えて当然であると言えよう。「園務」は一時間四九分で二〇・六％と公私立幼稚園に比して大分少くなつてゐる。「準備」三三分。六・二％で余り差がない。「研修」は私立幼稚園教諭と大差ないが、公立幼稚園教諭に比べると少い。

4、休日における職務活動の主なもの、公立幼稚園では園務が最も多く、次いで研修準備、保育指導の順になつてゐる。私立幼稚園では、保育指導及び園務は無く、準備、研修の順であり、保育所では講習会の出席等の研修時間が最も多く次いで準備、園務の順になつてゐる。

5、保育者にとって、幼稚園・保育所の仕事の重なるものは何と云つても、直接幼児に触れて保育をする時間で、事実この時間が最も長いが、次は担任の組や、園全般に関する事務や作業の時間である。この両者のために、準備時間や研修時間はごくわずかになつてゐる。

六、次に非職務時間の内容について、一日一人当り平均時間を示すと、第八表の通りである。この表によれば、

第8表

		平 日			休 日		
		公 幼	私 幼	保	公 幼	私 幼	保
い 常 規	イ 眠	464	476	444	523	527	518
	ロ 食	58	62) 120	78	74) 169
	ハ 身	76	74		65	88	
	計	598 (68.0)	612 (76.8)	564 (68.5)	666 (51.2)	689 (52.2)	687 (55.4)
ろ 家 労	ニ 炊	53	41		115	98	
	ホ 買	13	4		43	35	
	ヘ 裁	17	10		54	43	
	ト 洗	5	2		46	29	
	チ 掃	14	4		43	33	
	リ 乳・子	12	8		21	6	
	ル 雑	40	22		49	50	
	計	154 (17.5)	91 (11.4)	124 (15.1)	371 (28.5)	294 (22.3)	299 (24.1)
は 文 化	オ 新	11	10		17	21	
	ワ ラ	18	14		39	17	
	カ 読	20	7		36	44	
	ヨ 書	7	5		7	3	
	タ 趣	10	1		16	12	
	レ 宗	1	0.4		9	3	
	計	67 (7.6)	37.4 (4.7)	73 (8.9)	124 (9.5)	100 (7.6)	103 (8.3)
に 社 会	ソ 会	1	5		8	87	
	ツ 訪	9	8		39	58	
	ネ 手	3	2		5	2	
	ナ 組	1	0		0	0	
	計	14 (1.6)	15 (1.9)	14 (1.7)	52 (4.0)	147 (11.1)	65 (5.3)
ほ り	ラ 休	42	34		53	47	
	ム 娛	1	0		24	30	
	ウ 運	0.2	3		6	3	
	キ 喫	3	4		5	10	
	計	46.2 (5.3)	41 (5.2)	48 (5.8)	88 (6.8)	90 (6.8)	86 (6.9)
合 計		879.2 (100)	796.4 (100)	823 (100)	1301 (100)	1320 (100)	1240 (100)

1、三者いずれの場合でも、保育のある平日よりも、休日の方がはるかに非職務時間が多い。

2、日常の習慣として毎日行われている常規の時間は、すべての職務時間・非職務時間を通じて、特に目立って多い。それは、この中に睡眠時間が含まれているからである。

3、常規の時間の中で睡眠時間が、平日よりも休日に於て約一時間長い事は前に述べたが、「食事」「身仕度」の時間も休日の方が平日より多くなっている。

4、「常規」に次いで多いのは、平日休日共、家事労働の時間であるが、休日の方が平日よりもはるかに長い。その差が特に著しいのは、炊事、裁縫、洗濯、掃除の時間である。

5、各時間の一日中の割合についてみると三者いずれの場合も、常規時間の絶体値が、休日の方が平日より多いにもかかわらず、割合から言うとかえって休日の方が減っている。それは、裁縫・洗濯等の家事労働や、読書・趣味の文化的生活、他家の訪問・来客の応接、会合・集会への出席などの社会的生活、映画その他の娯楽、休息雑談などのリクリエーションが、いずれも平日より多くなっているからである。平日では時間がないために、これ等が僅かの時間しか行われておらず、これが大部分休日においてなされている事がわかる。

6、公立幼稚園教諭及び保育所保育母は共に、平日休日共、常規、家事労働に次いで文化、リクリエーション、社会の順になっているが、私立幼稚園教諭では平日は、常規、家事労働に次いでリクリエーション、文化、社会の順で、休日では社会、文化、リクリエーション

の順になっている。

む す び

以上、保育者の一日の生活を時間量の面から考察して来たが、これ等の結果からみると、保育者の一日平均の実質的な勤務時間は九時間を超え、私立幼稚園の場合十時間にも及んでいる。それにもかかわらず、良い保育をするのに必要な研修時間が、あまりにも少く、勤務時間の三分の一或いはそれ以上も、事務やその他の雑務に費されている。この事から考えると、たしかに保育以外の負担が多く、そのために保育に必要な時間がけずられているようである。したがって保育者の負担を軽減するために、より合理的な、より能率的な時間の組合せを考えると、保育者間の分担協力を適切緊密にすると云うような工夫も必要であらうし、事務職員において事務作業の一部をまかせる事や、保育者の定員増加により、一人当りの受持幼児数を減らすことも考える必要がある。しかしこれを今すぐ解決する事は困難であるから、先ず私達は如何にすれば、よりよい保育をなすことが出来るかという点から、現在の生活、現在の勤務を反省し、無駄をはぶき、一つの園及び施設の中で互に協力し、保育の面に於ても改良を加えるなど、各面にそれぞれ生活の工夫をこらすことも大切であらう。

○この調査に当って、お忙しい中にもかかわらず、面倒な記録をとって御協力下さいました各幼稚園・保育所の先生方に厚く御礼を申し上げます。

〔参考文献〕

〔25頁に続く〕

編集後記

昭和二十八年年度の経済白書が發表されたが、昨年中を通じての日本経済の最も著しい特徴の一つは、輸出と輸入とのバランスがとれていないということのようである。即ち、輸出が極く少ないのに対して、輸入が極めて多く、金がどんどん外国に流れてゆくことである。たゞでも貧乏な筈の日本の国から、こんなに沢山の金が外国に出ていつてしまつたら、日本の国の財布はどうなつてしまふのだらうと、私共経済の専門から縁遠いものも心配せざるを得ない。天然資源の貧弱な日本の国としては、どうしても買わなければならないものも沢山ある。食料も足りないし、衣服の原料繊維も、石油も、鉄鉱石も、こういう原料を買わないことには産業が成り立たないわけであろうが、又これらのものを加工して逆に輸出することも出来るわけである。ところが、現在外国から買っているものは、まだいろいろある。自動車

とか、靴とか、万年筆とか、その他、デパートに行つて氣をつけて見ると一杯ある。日本製品を買えば、日本の職人にお金を払ふことになるのに、どうして外国の職人にお金を払ふことばかり考えるのだらう。ドイツに行つた日本の留学生がパーカーでノートをとつていたら、君は何故日本の万年筆を使わないのか、と云われて返答に困つたそうである。フランスの市をキヤデラツクが走つていけると、皆が寄つてきて見るそうである。借金ばかりどんな増えてゆく日本の業者が増えて、就学難、就職難のきびしくなる日本の社会。舶来上等の思想もいゝ加減にして、私達の社会の足もとを見つめて仿らかなければ、今にどんなことになるか分らない。私達、皆が力を合せて、私達自身の社会を良くするように努力しよう。

幼児の教育 第五十三巻 第十号

定価金五十円

昭和二十九年 九月二十五日印刷
昭和二十九年 十月 一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉 橋 惣 三
発行者

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚町三十五
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都板橋区志村町五番地

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願い致します。